京城日報

九日夕刊

定價 本紙一部金五錢 一ヶ月金六拾五錢
廣告料 五號活字一行金七拾錢
發行所 京城太平通一丁目 合資會社 京城日報社
發行兼編輯人 印刷人

○新政府棟梁と岑春煊
統一新政府組織=列國に對し承認を求めん=

廣東愈々獨立せるを以て雲南、貴州、廣西の各派領袖は同地に赴き統一政府組織に關し打合をなしたれば列國に對し新政府の承認を求むるも遠きに非ざるべし而して何人か其の棟梁たるべきやに就き意見を交換の結果將來正式の大總統を推薦する際には約法に從ひ第一次革命の元勳たる現副總統黎元洪を擧るに決定せしも廣東に於ける新政府各棟梁には現在の南軍と密接の關係ある岑春煊を推すに決定せしを以て目下某方面にある岑氏は遠からず廣東に入城するに至るべしと(北京特電)

○蔡鍔と往復文書
袁總統に提出

陳四川將軍は四日黎徐段の三氏に宛て蔡鍔との一往復文書の內容を打電し右を袁總統に呈せんことを請へり(北京特電)

○サ號擊沈事件と米國

對獨問題に關する七日の閣議に於て獨潜艇のサセックス號擊沈の證據既に明瞭となりたる以上斷乎たる處置に出づ可しと主張する者ありしが兎に角獨逸の回答を待つことゝなれり(紐育電報)

○西班牙の對獨抗議
サ號擊沈と西班牙人溺死

マドリツト來電に曰く西班牙は獨逸潜航艇がサセックス號を擊沈し西班牙人數名溺死せるに對し獨逸に抗議を提出せり(紐育電報)

○鐵條網千露里の注文

露國政府は今回我外務省を通じ本省に對し戰時用鐵條網一千露里を民間製造業者より調達提供方依賴の勞を取られたき旨注文ありたれば目下本省は民間製鋼會社其の他の製造者に對し交涉しつゝあり多分成立すべしと(門司電報)

○露軍捷報

露軍はドウインスクの南方に於て一隻の獨逸飛行船を破壞しガリシヤ方面に於てスヴエトカヴツエを占領したり(露都電報)

○武富藏相叙勳

武富藏相に對し八日左の如く叙勳の御沙汰ありたり(東京特電)

大藏大臣正四位勳三等　武富時敏
叙勳二等授瑞寶章

○陸軍進級轉補
前陸相の勅選議員

陸軍第二回の進級轉補は兩三日中に發表せらるべく其の內少將より中將に昇進するは武田三郞、鑄方德藏、山田雅太郞、高橋義章、小池安之、山梨半造、堀內文次郞、河內禮藏、山田隆一の九少將にして轉補を見るは齋藤、堀內、河內の三氏にして以下の佐、尉官にも可なり多數の異動あるべく前陸相岡中將も之れを機とし現役を放れ貴族院議員に勅選せらるべし(東京特電)

○鮫島大將退役

後備役陸軍大將男爵鮫島重雄氏は去る四月一日附を以て退役となりたり(東京電報)

○渡臺續々

臺灣勸業共進會へ向ふ可き小松原宮中顧問全國新聞記者四十餘名等九日門司寄港の香港丸にて渡臺せり(門司特電)

○原總裁一行

原政友會總裁一行九日午前九時三十八分下關著官民多數の出迎を受け同十一時十分門司發大分へ赴きたり(門司特電)

○兩博士釜山著發

三宅宮入兩博士は八日午後七時著釜八時三十分發聯絡船對馬丸にて內地に向ふ(釜山特電)

○安東縣財界近況

安東縣に於ける三月中の經濟狀況に就き朝鮮銀行出張所の調査せる所を聞くに大要左の如し

▲金融の狀況　柞蠶絲並に豆油の外は新資金の放資材料絕えてなく例年ならば豆粕取引の如き相當盛を呈すべき時節なるに市中多少の需品はありしも相場全く引合はず從つて之が輸出貿易商側は此處數年に無き閑散を呈したり只だ銀價割高なりしかば錢莊筋には多少金銀資金の需用ありしが如し一面輸入商側は解氷遲れし爲輸入品少く之が決濟資金の需用未だ起らざりき解氷後は大豆の出廻と共に幾分輸出方面活躍す可きも在荷薄の爲金融界は例年程緊張せざる可き見込なり

▲貨物の集散　內地米價安含みの折柄當地方の大豆は品薄並に銀高運賃高にて相場不引合なりしかば大豆豆粕の取引並に輸出は絕えて見る可きものなし唯先月來柞蠶絲の日本輸出ありしも中旬よりは是亦不引合となり月末に及び豆油の大口註文あり鐵路大連方面への輸出之ありしのみ只だ木材は日本材の支那輸入杜絕して天津上海方面より大口註文多く相場高く取引甚だ活潑なりき輸入品は銀價割高なる爲買擱有利なりしも取引は左して多からざりし如し(安東縣)

●郵便爲替法及爲替規則改正
四月一日より實施

郵便爲替法は其の制定以來既に十六年を經過し此の間一般經濟界の進步と共に交通機關の發達顯著なるものあり亦郵便爲替取扱數の如き其の增加甚しく最近一箇年間の取扱は爲替法制定當時の三倍に達せる狀況にして時勢の變遷と共に郵便爲替法改正の必要を生じ同改正法は既に四月一日々實施せらるゝ事となれり其の要

▲有效期間の統一　其の要旨を摘くに從來通常爲替及び電信爲替證書の有效期間たる一證書發行の日より九十日小爲替は六十日なりしも其の有效期間の不統一は執務上不便少なからざるを以て今回通常及び電信爲替の有效期間を小爲替證書と同じく證書發行の日より六十日となして事務の簡捷を計る事となれり如斯有效期間を短縮するも交通機關の發達せる今日に於ては格別の不便なく反つて證書の種類により其の有效期間を異にするが如きは往々錯誤の虞れありと云ふを得べし而して右郵便爲替法の改正に伴ひ

▲改正規則の內容　郵便爲替規則も亦改正の必要を生じ制規により樺陸島千島國琉球小笠原伊豆諸島及び樺太所在の郵便局所と取組みたる郵便爲替證書の有效期間は百二十日なりしを九十日に改正したるが之れ亦交通機關の進步せるが爲めにて鬱陵島の如きは明治三十九年頃に於ては漸く一箇月一回和船便の交通あるに過ぎざりしも今や一箇月四五回の汽船便あり從つて有效期間を短縮するも何等の支障なしと亦從來小爲替證書亡失の場合に於ては證書發行の日より百五十日を經過する非ざれば爲替金の拂戾しを請求し得ざりしも今回百二十日を經たる時は拂戾しをなし得る事とし亦小爲替證書の再度證書の請求に就ても證書發行の日より百五十日を經るを要せしも之れ亦百廿日經過を以て差支へなき事に改められたり因に證書の有效期間を經過したる時は再度證書を請求し得るものにして再度證書の請求期間は有效期間滿了後約三箇年也

●昌德宮午餐會

李王殿下は既記の如く九日午後零時三十分より目下入京中なる各道長官を昌德宮に招待午餐の饗應ありしが寺內總督、山縣政務總監以下各部長官局長等參列したり

●弘濟丸と櫻丸

從來關釜連絡航路に從事し居たる弘濟丸は今回函館靑森間の連絡航路に從事する事となりたるを以て七日午後出港限り同地に向へり故に其代船としては二年以前關釜連絡航路に從事なし居りたる郵船會社所有の姉妹船櫻丸就航する筈なるが目下長崎に於て客船に改造中にて噸數三千二百噸なるが本月末には關釜間に廻航する運びに至るべしと(釜山)

●豆滿江の解氷

六日琿春分館發其筋着報に據れば豆滿江慶源渡船場五日解氷渡船するを得昨年より三日早し

●東清役員釜山通過

來る十日より開催せらるべき日滿連絡會議出席の爲め東清鐵道監査役グウキツク氏以下一行六氏運輸監督ポヲキツチ氏は八日午前六時四十分出帆高麗丸にて東上せり(釜山)

●京城の汚物掃除

京城府は曩に市內の汚物掃除に就て一大改良を加ふるの必要を生じ前年衞生費行部を設置し田中半四郞氏を囑託として鋭意其實行に努めたるが從來の府豫算中大部分を此汚物掃除費に消費されたるに事績は落々として擧らざりしたるが反對に此新様は經費を節約し即ち前年度豫算にありては十四萬六千六百十三圓の汚物掃除費を計上しありたるも本年度は十四萬一千百四十三圓となり前年に比し約五千四百餘圓の減少を見るに至りたり此れに止まらず日ならずして傳染病の如きは全く根絕するに至る可く京城市街の發達と共に斯く衞生施設の普及するは喜ぶ可き現象なりと云ふ可し

●府內道路の修繕

京城府は今年度より土木係の一事務を行ふこととなりたるに依り府內の道路を七區に區別し各區には二三人宛の常傭人夫を配して道路の修繕維持に當らしむる筈にて更に是等を監視する監督者一人を置き絕えず自轉車を以て管內を巡視すと云へば市內の道路は漸を追て改善さるゝに至るべく之が爲め本年度に於ては約五萬圓の土木工費を計上したり

▲朝鮮經便創立總會期　朝鮮經便鐵道株式會社創立總會は愈々本月二十八日を以て東京に於て開會する事に決定せりと(釜山)

▲竹內鏡彥氏動靜　三井物產支店より本店詰として先般歸京せし竹內鏡彥氏は今回中村精七郞氏の銀行經營に際し其責任の衝に當る事となり先月十日三井を辭し爾來神戶浪花町中村支店にて設立準備に盡力中なりと

元山

▲積雪二寸　四月に入りて以來頓に氣溫低下するに至り而も六日夜十時より翌七日朝七時に亙り降り續けたる雪は其量二寸に及べり聞く所に依れば元山に於ては四月一日を以て終雪期となし昨年四月二十日の降雪を除く外本年の如きは稀有の事なりと因に農作物に對しては左したる影響なかるべし

▲築港と浚渫船　元山築港工事に使用すべき浚渫機臺船は既に入札の上仁川光田造船所に落札し去る二月末より土木局出張所附近の海岸に於て製作中にして四月二十日頃竣工の豫定なる由何ほ之れに据付くべき浚渫機は目下石川島造船所にて製作中なれば之が到著を俟ちて直ちに臺船と組合せたる上五月一日より築港岸壁前の浚渫に著手すべしと

▲送別園遊會計畫　今回廢止となれる永興灣防備隊及び新設師團設置の爲め引揚期の迫れる元山守備隊との各隊員に對し元山官民有志者にて計畫し去る七日午前十時より元山府廳內にて發起人相談會を開き協議の結果愈來る十五日準士官以上の各隊員を招待し大旁櫻後庭に於て盛大なる送別園遊會を催す事に決定したり

仁川

▲仁川俱樂部例會　仁川俱樂部例會を十日午後八時より俱樂部樓上に於て開催德島縣選出代議士板東勘五郎氏の朝鮮商工業に關する講演ある筈

光州

▲棉花廻著終る　昨年末より木浦に廻著中なりし棉花は愈兩三日を以て終了せしが廻著總額は陸地棉千六百四十四萬斤在來棉十二萬二千四百廿九斤繰綿十五萬七百七十三斤總計千九十一萬三千二百二斤となれるが此內繰綿出來高三百三十六萬九千四百五十斤實棉在庫高三百六十萬四千二百五十斤也と

▲農校日人科說　光州農業學校に內地人科を置く由聞へられ居れるも目下其筋の研究中に屬し未だ具體的の成案も無く若し開設するも六年度豫算に編成さるべく豫想せらる

▲判任見習試驗　本道に於ける判任見習試驗は八日體格檢查九日普通學科の學術試驗を執行の筈にて受驗者は三十六名內鮮人八名試驗官は參與官事務官商武公美の兩氏なり

▲光州孤兒院近況　光州郡極樂面なる光州孤兒院は目下收容孤兒日人六人鮮人十八人にして二十歲を最年長として十一歲迄事務員は二人にて普通學校程度の學科を授け尙院有地二町步の耕作に從事せしめつゝあり昨年中の農作物收穫五百圓に達したる由にて院主五十嵐喜廣氏は目下院の擴張の爲め內地へ赴ける由にて歸光の上六十人を收容する丈けの擴張を行ふべしと

▲警部異動　木浦警務部勤務警部岩井逞作氏は警務部兼警部に任ぜられ全南警務部勤務を命ぜられ其他四名の鮮人通譯生兼警部は警務部勤務に任ぜらる

木浦

▲新水道工事概況　四月一日新水道通水式場に於て工事主任原祥之輔氏の報告せし概況を聞くに當府既設水道は其當時の人口五千人に對する配水計畫を以て設備實施せられたりしも爾來府の發展著しく爲めに既設水道を以ては辛ふじて飲用水に充て得るに過ぎず一朝旱天に遭遇するときは忽ち涸渇の急を告ぐるに至れるを以て時の居留民團は刻下當面の急務として擴張の外策たるを認め大正二年度以降二ヶ年民團起債十一萬七千五百圓と國庫補助金十一萬七千五百圓とを資源とし總工費二十三萬五千圓を投じ二箇年繼續事業として人口一萬二千人に對する計畫を立て水源地を務安郡三郷面舊山洞に選定し之れが經營を爲すに決せり依て去る大正三年三月工事を起し同年四月民團廢止と共に木浦府之れを繼承す時偶々歐洲戰亂突發し其の影響を被むりて一般諸物價の騰貴殆んど其極點に達せしと雖も爾來何等の障害なく工事着々進捗し尙工費も豫算に超過することなくして竣工を告げ茲に通水式を擧ぐるに至れるは不肖等の寔に至幸とする所なり今各工事施設の概要並に工費內容左の如し

一、貯水池壹ヶ所	
土堰堤	長八十五間 高七十尺 天幅三間 敷幅四十一間半
取水塔	石造混凝土 徑六尺 高五十尺
暗渠	鐵筋混凝土外面アスファルト塗布長三十二間高五尺五寸巾四尺
此工費	五萬四千四百圓
二、濾過池	鐵筋鐵骨混凝土底部アスファルト塗布計方形八十尺深八尺
此工費	一萬九千百二十八圓
三、淨水管竝に配水管購入及び布設	六千八百二十八間
此工費	八萬六千六百四十三圓九十三錢
四、配水池	鐵筋鐵骨混凝土底部アスファルト塗布圓徑六十尺深十四尺
此工費	一萬三千九百〇四圓
五、用地買收費	一萬二千四十八圓五十四錢
六、建築費	二千九百七十四圓五十八錢
七、電話架設費	八百七十五圓五十二錢
八、補償費	一千六圓三十九錢
九、器具機械費	二千八百三十圓四十三錢
十、調査費	七百五十六圓七十七錢
十一、水源涵養費	一千八十四圓八十四錢
十二、事務費	二萬八千九十一圓十一錢
總計	金二十二萬三千七百四十四圓十一錢

…を負擔し剩餘額一萬一千二百五十五圓八十五錢は配水管增設及び電話架設等に充當の豫定なり

▲青木技師轉任　當地鐵道局派出所詰技師青木德三郎氏は今般京釜線工事監督として金泉在勤を命ぜられ六日出發赴任せり

▲署長技師送迎會　金泉へ轉任の青木技師元山へ轉任の工務所小川技手及び過日來任の林署長の歡送迎會は當地經濟會主催となり四日公會堂に開催出席者官民主なる者六十餘名主客十二分の歡を盡し十時過散會せり

▲十八銀行支店移轉　常府本町一丁目角に新築中なりし木浦支店は今回工事落成去る三月移轉せり

▲岩井警部轉任　木浦警察署勤務警部岩井逞作氏は今回本道警務部勤務に轉補し不日出發すべしと

清州に入りて　日新生

▲只今清州に歸來、再び清州館に投じ申候、此地は昨今感冒の大流行にて佐々木第二部長の如きは窒扶斯の發生を慮り既に其豫防注射を濟せし由を語られ候

▲先日の通信中此邊に梅毒氣と石氣の無いものは無いと申上候が、あれは風邪氣の誤聞に御座候、僅にさとざの間違に過ぎずとはいへ清州人士の體面に關する事柄から訂正せざる可からずと思ひ茲に謹んで訂正仕候

▲忠州を見て此處に歸へれば土地の重石熱は餘程穩かな樣に感じられ候、但し旅客は大抵買鑛者にて邑內には往々重石鑛買入の看板を見受け料理屋抔も却々繁昌致し居り候へども土地の人にして本職を抛ち買鑛に狂奔する樣なるものは餘り無之模樣に候

▲此地は奧地との取引旺盛にて商家は何れも相應の商品を仕入れ比較的手擴く商ひ居り候、邑內に浮浪者なく上下勤儉貯蓄の念厚きは前長官が苦心の遺風と承り候

▲清州人は臆病で活氣がないと評し人もあれど、物には總て長短の兩樣あり、此地の如きは都邑として決して不健實なる發達には御座なく候(四日)

釜山

▲府協議員任命　釜山府協議員は任期滿了につき七日附にて新に任命ありたり其氏名左の如し

大池忠助、迫間房太郎、香椎源太郎、坂田文吉、五島甚吉、志賀五百枝、河內山品之助、吳仁善、朴泳吉、李圭直、李聖剛の十一氏

右の中志賀五百枝氏は田中秀次郎氏の後任、河內山品之助氏は故三輪保吾氏の後任なれば未だ任期滿了にあらず其他全部重任なり

▲警部長の電鐵檢分　慶尙南道警務部長前田昇氏は七日午後來釜し大池旅館に投宿八日午前中永田技師の案內にて朝鮮瓦電の市內延長鐵電豫定線路を檢分せり

▲關東東北人會　釜山に在住せる福島以東關東東北出身を以て組織せる關東東北人會は第十回懇親會を九日午前十時より牧之島鑛泉場にて種々の催しをなし大宴會は盛會也き

▲釜山商專入學生　釜山商業專修學校本年度新學期入學試驗の結果採用二學年(成績順)西尚雖右工門以下四名一學年(成績順)…助以下六十三名なりと

人事消息

▲宮入慶之助氏(九大醫學博士)　八日午後釜山上陸東萊溫泉へ
▲前田昇氏(慶南警務部長)　九日朝入京
▲岡村北雄氏(鐵道局釜山派出所員)　八日出發赴任
▲平賀德太郎氏(海軍大佐)　八日午前釜山上陸北行
▲小倉享氏(鐵道技師)　同上
▲村井因憲氏(元京城分隊長)　九日朝出發內地へ
▲水間中佐(咸北警務部長)　七日夕入京通尾旅館へ
▲瀨元次郎氏(平南警務部長)　九日朝入京
▲服部米四郎氏(慶北警務部長)　七日夜入京通尾旅館へ
▲阪野耕造氏(滿鐵理事)　七日夜大連へ向け出發
▲米國副領事(京城駐在)　八日午前咸興へ出張
▲中村辰五郎氏(鎭南浦)　十日朝出發內地を經て渡米の筈

□學鷗氏の國境行　同氏は來る十五日議政府出發元山より乘船、新昌に上陸甲山に至り三水惠山鎭邊を跋涉し七月中旬には白頭山頂に登り八月末迄同山森林地帶に轉じ天幕生活をなし九、十兩月は咸北茂山附近を踏査の筈發途に臨み左の一律を寄せた

笑理征裝快欲呼。有緣濟勝涉崎嶇。
休言秘境漫探句。請看名山始入圖。
虎吼林陰雲作陣。龍潛潭上月浮珠。
行々露宿深霞裏。夙志何辭役老軀。

中學講義錄 會員大募集
新學年(四月)改版刷新 學制改革 此際入會者に限り入會金全免 獎學金 規則書無代進呈
京城觀水洞百五十五番地 大日本國民中學會朝鮮支局

ダリヤ 實費分讓 目錄無代進呈
京城西大門外竹添町二丁目 東京千草園分園

男女募集
官廳銀行會社商店員は骨を折らずに收入多し然るに今や實地にたけたる人物なきに困じ居れり之れを得んには東京芝區新日本通信學院發行の英和速記講習錄に就て三ケ月卒業早速就職す現に卒業生は官廳銀行會社商店等に奉職し多額の俸給を受け優待せられつゝあり希望者規則進呈

南部鐵瓶
岩手縣二戶郡一戶町 問屋 高見虎五郎 振替東京八六六四
御照會次第見本定價表進呈

帽子〇莫大小〇肌衣〇沓下〇巾股〇絹縮肌衣〇其他和洋雜貨各種有之候

金時足袋發賣元
夏物荷揃
御問屋 坂田支店
仁川新町 電話六一九番〇振替京城二六七番
晒〇色裏地〇木綿〇タオル〇手拭〇牛巾〇布〇地下足袋〇各種草履〇スリツパ 地方御取引は精々御便宜御取計申候

製材機械原動機 其他一切付丸鋸共
賃貸又は割安賣却
鑛山機械專門製作
南大門通五丁目電話一〇四番 中根商會

京城永樂町一丁目(陳列館通) 電話六一三番
內科 小兒科 村上病院
院長 醫學士 村上龍藏
副院長 熊本醫學士 松下三雄

兩皇子海博御遊覽
還啓の途中御參内あらせらる

淳宮、高松宮兩殿下には六日午前八時半御出門目下開催中の海事水産博覽會へ成らせられ會長副會長等の御案内にて海軍參考品、海運船舶及び材料機械、漁船附屬具漁業水産製造養殖水産機械、荷造運搬容器及び冷凍方法港灣及び航路標識、海上救助、海洋及び氣象教育及び學藝法制經濟の部、拓殖事業、主要貿易品其の他の參考品を順次御覽御說明を聽召され種々な御下問をたまひたるが就中郵船會社の出品に係るパナマ運河の模型を御覽じて殊の外御興を覺えさせ給へる御樣子なりき正午御晝餐を召させ午後再び館内御巡覽午後三時卅分諸員奉送中に還啓の途中御參内御車寄にて天皇陛下を御奉迎種々な御物語の後退出遊さる（東京）

遣露救護班の引揚
佛國の方は六月末ならん

當初六箇月の豫定を以て派遣せられたる我赤十字遣露救護班は去る二月以後再び引揚延期となり今日に及びたるが愈今月末日露都ペトログラードを引揚げ歸途に就く事に決定せり 又遣佛救護班に付ては尙從前通り巴里アストリヤホテルに語作救護に從事中なるが之れ亦來る六月末を以て歸國の途に就く筈なりと（東京）

朝鮮からも石灰重石を出したい

昨日重石の話と題し笠原氏の說明が連載されて有たが一般の人には極めて有益で且つ興味を以て讀れたらうと思ふ僕も亦少しく重石に就て研究した所で笠原君の說明以外の點を述べて聊か蛇足を添へたい、重石には狼鐵鑛、石灰重石の外に銅重石、鉛重石等の種類もあるが此等は

産額も極めて微量で且つ應用も今日の化學工業界では發見されてないから省略するとして狼鐵鑛には鐵重石滿俺重石の二種ある鐵重石はタングステン酸鐵と滿俺との混合物で滿俺重石は滿俺の混つたものである其外重石から化したライナイトと云ふものもある此等の區別は唯學問上の區別ばかりでなく鑛物の上に取扱を異にするのである

◎日本では比較的多量に出る　◎但狼の方が取扱上

認められてないが從來では狼鐵鑛と石灰重石に差のある如く區別せられて居る樣である實際の鑑別から云ふと滿俺重石は鐵重石よりは鐵面樣の光澤が多い樣である、次に石灰重石であるが色は余り白色ばかりでなく、奇麗な飴色、淡飴色、灰色、水色、白色、鼠色等のものがある、産出の狀態から云つても山に由り各々種類が異なつて居る譯である、時には同時に出る事もあるが其時には何れかゞ微量である

金剛山の狼鐵鑛から石灰重石が出た事もあり山口縣の石灰重石山から狼鐵鑛が出て居る之に就いては何かの作用で偶然鐵とか石灰とかと化合したのであると渡邊博士は言はれた、朝鮮でも金剛山で石灰重石が出たと云ふレコードは作られて居る、之に依つて見れば今後朝鮮に石灰重石が發見されるかも知れない、石灰重石は出るとなると狼鐵鑛よりも多く出る實例が多いから是非共發見を期待して居る

◎狼鐵鑛のタングステン含有の分量に就て

相場の差あること笠原氏の說の通りであるが世界で最も多い例は七五パーセント位あつたと記憶す、金剛山のものでも七三、三六パーセントを含有したものもあつた重石を取扱はるゝ場合に分析の材料に供せらるゝなら堅質の岩石を碎いて光澤著しきものを取て分析せらるれば必ず其は良品である、日本内地では石灰重石のみしか産しない樣な話もあるが水戸の奥の三菱で採掘して居る高取鑛山及甲州乙女坂では狼鐵鑛が稼行されて居る日本では乙女坂が發見の嚆矢で

朝鮮では若木に

標本的の小塊が出たのが始で稼行に堪ふるものとしては金剛山の重石發見が嚆矢で斯く申す拙者が發見者である、外國輸出も五年前から出して居る、右の外技術に就ては述べたい事多きも他日に讓るとし終りに一言し度きは一鑛區に幾十の競願などに骨を折らず

◎石灰重石其他の新發見に努力せんことを希望する、重石計りでなく一噸八千圓のバナヂユウムや一匁百四十萬圓するラヂウムが色々な鑛業家に懸賞問題として提供されて居る事を忘れてはならぬ（小笠原鐵氏談）

つぼみ ＝倭城臺神泉川畔＝

是れから小鳥の世界

▲小鳥飼ひはこれからの▲鳥の聲が一番よい

昨日郊外に出るともう其處にも此處にも揚雲雀の聲を聽く、それに

◇**雲雀好き** の支那人はあの川の鳥籠を高く肩まで差しあげながら默然として陽炎の裡に立つて居るあれは籠の雲雀に野になく聲を聽かせる爲めであるといふがまた日本人の小鳥好きが

◆**繡眼兒の** 籠を手に持つたまゝきれいな聲に聽き惚れるのと同一事であらう、支那人は征んとに雲雀を飼ふ事が巧みである、壽町の鳥屋さんの話によると朝鮮の小鳥は

◇**略ぼ內地** のものと同じだ相な、あの可愛らしい鈴を振るやうな聲で啼く深山頰白や茶色の羽根に黄よりや、大きい鵐鳥の如きも內地のそれと同じ種類でまた駒鳥には日本內地吉野駒と稍々趣きの異ふ

◆**縞駒馬と** いふのがあるがこれは鳥渡鶯鳥のやうな啼き方をする繡眼兒は京城附近には居らぬが南鮮殊に大邱以南には內地と同じものが居る、山雀はこれも內地と同じもの

◇**又鶯鳥の** 種類では鮮人の謂ゆる黃鳥といふのがあるが朝鮮のは身體も大きく且つほうほけきよの啼き出しが無いやうである、京城では

◆**かすみ網** で小鳥捕りに行く人もあるが小鳥飼はこれからの鳥の巣立ちが一番よい、近來小鳥を飼ふ鮮人社會にも一般

◇**小鳥趣味** が增えて前の小鳥の他はカナリヤ、想思鳥、十四松、文鳥などがよく賣れる、

初雷!! 初雷!!
花誘ふ春の雨

八日以來の春の雨に總督府裏の吉野櫻も蕾がふくらみ淸凉里の楊柳も靑くなつたしと〳〵と降る春雨に

▲**街行く人の** 蛇の目傘、京城にもいよ〳〵春は訪れて來た、丸で日の話は未だ若の五時頃凄じい雷鳴がお蔭き渡つた、是れが今年の初雷ひ世間はいよ〳〵春らしくなつて來た雨の原因は二三日前から南支那の北部附近に發生した優勢な低氣壓がだん〳〵揚子江方面から黃海の方に出で

▲**九日の朝は** 西朝鮮の空まで襲うたからである、それに黃海の西方に當つても一小低氣壓が現れて漸次朝鮮の北部を襲うたからである九日午前中には南鮮木浦地方には雨がなく專ら京仁以北一帶の降雨を見たが午後はいよ〳〵全朝鮮の雨となつた、花を誘ふ春の雨これからだん〳〵暖かくならう

不孝の罪を謝す
新町遊廓の合意心中
＝男女とも絕命＝身棲爾かに七個＝首ツたけ惚れ込む

陰鬱なる春雨涙やかにそぼ降る九日朝京城新町遊廓十七番地大語樓事松本强之助方表二階北向き四疊半の室にて情死沙汰あり同樓の抱娼妓町奴事平野ますが

▲**午前八時頃** 之れを發見し上を下への大騷ぎとなり早速其筋に急報したり本町署より係官警察醫急遽現場に出張の上檢視を遂げたるが女は同樓の抱娼妓本籍大阪府泉北郡大津町生れの京奴事柳原龍(二十)と同樓の流行妓、男は本籍東京府にて京城本町山岸某(二)と判明したり兩人は抱合ひたる儘北枕に打廢れて

▲**既に絕切れ** 居りて別に苦悶したる模樣もなく兩人共口より僅か許りの粘液を吐き居るのみにて取調べの結果毒藥靑酸加里を

水に溶解して飮用したるものゝ如く傍らに茶碗一個あり、女は髮を打拋きてモス友禪の長襦袢を男は銘仙飛白の衣類を著し居りて傍らに男の遺書一通あり『先立つ不孝の罪を謝す兩人の

▲**屍體は合葬** を願ふとの意味を認めあり其末端に大正五年四月九日午前五時半と附記しあり女の方は別に何等の遺留品もなし右に付き兩人は全く合意の情死なること判明し男の屍體は家族へ女は樓主に引渡したり京奴は昨年十二月中八百

五十圓の身料にて同樓に抱へられ性質も溫和の方にて朋輩等と爭ひしこともなく且つ

▲**美貌なりし** 爲め相當の客筋もあり男は昨年迄東京商千穗中學校に在學し居りしが三學年にて退學して京城なる親元に立歸り店の手傳ひなどなし居りしも廓遊びを

なし數百圓を蕩盡したる爲め實家よりは勘當同樣となりて他家に預けらるゝの身となりしも尙其の狂夢は醒むるに至らず京奴に

▲**馴れ染めて** よりは未だ日も淺く僅か七回位の登樓にして關係を初めたるは約一箇月前位なりしものゝ如く八日夜も例の如く登樓したるも素より男は所持金ある筈なく勘定

□**負けじ魂**
＝喜久家文之助＝

『モシ〳〵先生いらつしやいますの？、妾政勇ですの、恐れ入りますが鳥渡お電話に—』或る所で藝者が送話器を口にしてゐるのを見た、先生〳〵といふのが誰だと思つたらそれは喜久家の女將文之助事岡田鬼千代先生だつた。京城の花柳界では

▽**先生で通つてゐる** それが敬稱に用ひられる場合とおひやかしに用ひられる場合と自から截然として別があるけれども、兎に角花柳界で先生と言へば、ア喜久家のかと響いてゐる、喜久家の先生に對して千代本に閣下の名稱を奉らうぢやないかと言つた人がある、先生と閣下、成程面白いかも知れぬ、それはさて置き狹苦しい帳場格子の中にあの二十貫餘りの巨軀を埋めた文之助先生の女將振りを見るに寫眞の示す通り

▽**菊五郎と羽左衞門** を打つて一丸とした樣な館の持主なる文之助には三十三の今日まで獨身で通して來た丈あつて恐ろしく負けじ魂の男勝りなキビ〳〵とした所があつて、開業以來今日まで兎角噂さい世間から後ろ指一本差されず然かも如何にも樂しさうに經營して來たなどは豪いものだ、三井物産だの、その他の二三の銀行會社に有力な後援者があつたのに因る事は言ふまでもない、普通の女では容易に出來ない事を兎に角行り遂げた

▽**偲うした女に有勝** な義俠心があつて金錢には可なり淡白で人のためにはパツ〳〵と出してしまう、先達て歿なつたおゑんに對してはその娘を預かつてる關係から跡片付には千代本のお千代と二人で滯りなくしてやつた、その以前おゑんの娘が桃太郎と言つてた時分、親子が不仲になつてゐたのを矢張り千代本と二人で仲に入り、滿洲下りまで行つてゐたのを連れ戻して自分の所に引取り世話をしたのが今香羽家にゐる千代菊、千代本と

□**松之助式の大暴れ大奮鬪**
琵琶入活動寫眞うき世勤王劇
大正館專屬となつた村上桂秋

◆‖お馴りの黃金館が獨物の須磨の仇浪で人氣に投じて向ふを張つたわけでもあるまいが大阪を中心とした關西地方から東京にまで波及した大評判の『うき世』と松之助一派の史劇高山彦九郎、それに活劇もの大尾張で香季特別大興行と來たのは大正館、之れが當つて居り日以來押すな押すなの大入滿員は勿論八日の日は陰晴定めないといふ天氣だつたが、それでも八時過ぎには滿員札止め

◆‖大地震といふのは先年桑港に起つた激震の凄慘なる光景と、それに伴うて起つた悲劇とを骨子として作つたもので頑固な父の意に背いて相思の婦人に愛を捧げる青年、その青年の眞情を汲む娘の親で事業家の老人と青年の放恣を憎むその父などが縺れ合ふ。桑港の地震の慘狀と當時の混雜の模樣が手に取る樣だつた、筋の鮮明なのと全體の筋がすら〳〵と不自然な所がないのがよかつた

◆‖高山彦九郎は例によつて松之助式の大暴れ大奮鬪、恭順に到する火の様な反抗心は到る處に役人の横暴非道を怒らせ、時に斬るゝと進むる鐵壁の鐘の如く勇ましい、全く大きい小説では見物が喝采、殊に其雄辯より明治ひ松之助が吐くの詳語の『イヨウ大きいぞ』と階下の聲から、松之助の芝居で怒る總括いい景になつてる所が面白い『うき世』の小說も讀んだ事がなし、話にも聞いた事のない僕には、此の寫眞あるがために碌々飯も食はずに詰めかける人程に興味を有ち得なかつたが、新聞でお馴染のもの丈に一番受けてゐた。殊に日よく通つてゐた樣だつた。

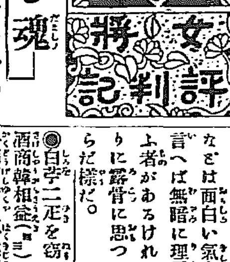
◆‖高山彦九郎では例の明の文句の京の三條の橋の上で遙かに皇居を拜する邊り、らきよでは映寫の前に筑前琵琶の彈美があつたが、演者は館主が內地へ行つて大阪から聘して來た村上桂秋、京都、大阪、東京の斯界で名聲を謳はれたものゝ中に伴彈共に確かなもので、見物の大部分はその妙技に醉つたもの、樣だつた、今後は大正館に專屬して琵琶の演奏を擔當するといふ、京城の斯界に重きを爲す事だらうと思ふ（大正館）

拘らず首ッたけ惚れ込み

男が嚴重なる實家の取締りにて遊興費に窮したるため女は自分の衣類を曲げて迄助情しつゝ互に逢ふ瀨を樂しみゐたるものらしく多分彼や是やの事情より遂に右の仕末に及びしものならんと且男こは日淺きにも

を請求されたる際實家に對し電話にて遊興費の持參方を依賴したる程なりしも女は八百餘圓の大負債を背負

■**井邑郡の火事** 去る七日午前二時三十分頃全北井邑郡內邑面肥來里朴元一方便所の捨灰の中より發火火は南風に吹煽られ見る〳〵中に燃え擴がりたるより同家の者は勿論近所の人々馳せ集まり消防に盡力したるも風力强きため容易に消火せず斯くする中急を聞いて井邑より消防組驅け付け消防に盡力したる結果同六時頃十四戸十四棟を燒失し漸やく鎭火したるが人畜には死傷なく目下損害價格は取調べ中なり因に同部落は戸數多からざるより殆んど全滅の有樣なりと



▽**自分の家の名前を** 命けたのなども面白い、又東京相撲の駒ケ嶽を一時非常に贔負にした事があるが駒が死後彼が遺した弟子力士の駒泉を晉子の樣に引立てゝやつてるが昨年五月場所から十兩に入つたので更に入幕を樂しみに遠く離れてゐながら面倒を見てやつてるのなどは面白い氣象の女だ、文之助と言へば無暗に理屈ッぽい女の樣に言ふ者があるけれども、それは彼が餘りに露骨に思つた事を言つて終ふからだ樣だ。

◎**白苧二疋を竊む** 京城鍾路六丁目酒商韓相益(四三)は三月三十日夕刻昭格洞下宿屋朴基順方止宿人なる黃海道延白郡柳谷面李曼植所有の白苧二疋(八圓)外一品を竊取し鍾路署に檢擧されたり

◎**鐵板を盗む** 京城西大門町二丁目李元生(十六)は三月三十日正午頃京城貞洞培材學堂內にて鐵板一枚(一圓)を竊取して鍾路署巡查に取押へらる

◎**小泥棒取押へらる** 京城樓下洞職工權俊植(三五)は四月一日午後四時半頃壽松洞古物商趙順宗方にて眞鍮製油煮一個を竊取し鍾路署に引致されたり

僥れなる一家 鹿兒島縣日置郡南木村生れ當時仁川萬石町佐野毛九(四十)は米政治郎との間に二月末群山に出稼ぎに行き同地にて關平船の船夫となり勞働に從事中此程不幸にも溺死を遂げたれば月々夫の中に傳はるや仁川吳服商組合は率先して金三圓を同家に寄贈せり(仁川支局)

雇員任免 雇谷政樹(三七)大阪府生れ…業奥村佳一(三二)山口縣生牛方居士末業宮川……

淋しい土方 長崎市西中……處分となりたり

◎**連絡船上陸客** 九日午前入港……

三豐…… 平壤、鎭南よし、濱崎金太郎、原田定綱、山口恒蔵、同久、澤山熊次郎、内藤定靜、岡比留よし、黑瀨與三郎、牧田浩曹、同よし、同路、牧田路、淺香久綱、中小路鎭次郎、松本久三、昇濱和吉、郎、岩本耕次郎、三ケ尾忠吉、伊藤清次郎

天氣 くもり 晴れ後曇り 四月十日

謹告
私儀
先般來研學の爲め東上中の處今回歸院仕り專ら患者の診療に應じ可申候
入院隨意
京城明治町一丁目（電話二〇四四番）
江頭眼科醫院
江頭富雄

自動車運轉手
功を期する士は速に手續書を請求あれ
敎授書を頒布し急速養成す內外共隨所に就職收入多大
東京市京橋區南紺屋町發動機協會

●職業問題（下）

鮮人勞働の範圍が擴がつた

▲鮮人勞働者 比較的下級なる朝鮮人勞働者の收得は諸種な事業の開始さか賃金の高率な內地人職工の增加につれて漸次に殖えて來て居る。從つて中流以上の階級に比すれば割合に生活が氣樂のやうである。例へば勞働者中でも何等技術等を要せぬ苦力の如きすら一日平均三十錢前後の所得ある者も少なくない。尚ほ煙草工場、精米所、土木事業の如きものもあつて一般商店員たるものより掃除夫、炊事、子守等に至る迄多數鮮人の勞力を要するものが多い。前に述べた如く人口は減退して居ても鮮人勞働の範圍が擴がつて來た事は寔に欣ばしい

▲各種の勞働賃 最近の調査によれば朝鮮人の勞銀は下男は一箇月四圓より下女は同一圓八十錢日給ではペンキ塗の八十四錢、人力車夫の八十錢、瓦職の八十錢等であるが更に各種の勞銀を職業別に示せば

職	賃金
大工 家作	六九
指物	七八
建具	七八
左官	六三
石工	七七
木挽	七七
瓦職	八〇
疊職	七五
ペンキ塗職	八四
活版職	七五
家具製造職	七二
靴製造職	四〇
車製造職	七三
鍛冶工	七九
煉瓦職	七八
物付職	七五
井戸掘	六〇
米搗	四五
平人足	三四
石タト人夫	五四
人力車夫	八〇
傭仕	五三
馬車	三三
下男（月給附付）	四、〇〇
下女（月給附付）	一、八〇

▲支那人の勢力 朝鮮人と勞働の上に競敵たるは支那人で京城に居留せる支那人の數は僅かに二千人を超えないけれども支那人は猶太人の如く金錢の爲ならば如何なる勞苦を物ともせず而かも一致團結の力に富みて職工としても實に勤勉で廉い賃金を以て一般の雇傭に應じ常に雇主の歡迎を受けて居る將來支那人は朝鮮人に對して一層有力な競爭者となるであらう

●髪飾＝新流行の

▽東髮用から日本髪へ
▽櫛は月形が持囃さる

今年は一體に日本髪が流行りますので、髪飾りも東髮用のものより日本髪のもの、方に變つたものが多うございます。櫛は月形といふのが大層流行りですが、これは二十年程前に初形と云つたもので、肉が薄く其の時分は蒔繪であつたのが、今は黑地に

金、銀、珊瑚、貝燒き物などを塗込めたもので、模樣も露芝風のものが多う御座います。笄は魚形のが丸形に變化した位で前同樣塗込みものが多く、櫛笄一揃ひ二圓から十圓の所が先づ普通で御座いますそして一體に大振りに派出なものが

流行します。桃われ、銀杏返しなどの挿しものとしては、パラフ物にこれも金、銀、珊瑚、貝などを用ひ、形は變りなく一圓から十圓位です。うしろ挿は平打物の透彫り又は珊瑚翡翠貝などを使つて工夫したものに美しいのが御座います。又

翡翠の丸形も多く見受けます。これらは三圓から二十圓位根掛けにも翡翠の玉か金銀の透し彫がよろしく、なる丈輕いものが一般に歡迎されます。翡翠の玉で九圓乃至三十圓銀透し彫りで二圓から五圓位、又た桃われなどに掛けるにはつまみ細工の根掛けに美しい

色取りをしたのが二十錢から一圓迄で有ります。花簪もつまみ細工が流行の一つで純日本式の可愛いものが三十錢より二圓止りです。手柄で珍らしいものには鄕紋りは兎に角として、脈の葉、水絞りなどがよろしく。二十歲前後の方ならば淡紅

赤 三十歲前後向きとしては水淺黃、鴇、御大典色と云ふ處でせう。又、東髮用のものに變化が少く、髱も形は變りはありませんが、塗込み物が多く、ピンと丸形の大きく派出なもので、淺黃、翡翠、飴色などのいくらか涼しさうなのが流行で、五十錢から二圓位迄です。

◉巧みな電話詐欺

五日午後二時頃釜山本町二丁目九番地綿絲布商商瀨商店へ電話を以て自分は東萊場內市場通金辨晉なるが所用にて金泉に行くに付使者に商品を渡し呉れたしと申越せしより同店にては同人は信用ある得意先なるより承諾にては直に綿布五疋外三品總計百八十五圓餘を渡したるが翌六日金辨晉が突然來店せるより前日の次第を述べたるに本人は打驚き更に覺えなしとの事にて直に釜山警察署に屆出でたるにより同署にては早速犯人搜索に着手したるが其犯人は東萊郡東萊面福泉洞李俊伊、同吳俊根、同嚴安洞金精泰の三名と判明逮捕したり

日曜漫畫 仲の悪い家 ちゃめ吉畫

碌にものも言はないで考へてる哲學者の隣家へ朝から晩の梯が三寸下る迄唸つてる浪曲の師匠が引越して來た。學者の方では迷惑千萬、その上に隣の庭の木が意地惡るく隣に懸つて掃いても掃いても木の葉を落す。凸坊は茶目を虐めるし、ペスはポチを追ひ廻す。何處までも仲の悪い隣同士は猫まで仲が惡るくて睨みあつてる。そこで學者の家の先生大に憤慨して時々大道說をやる。孰れが勝つか。負けるか……

◉毆り殺さる

全南沃溝郡大野面三吉里李道三（三八）は同里李京五（三一）金白奉（三一）同面山里林俊植（三七）と共に去る一日夜附近の酒幕にて飲酒し其の歸途同里金群道路傍の田圃中にて喧嘩を始め前記三名の者に毆り殺されたるより急報に接し群山署より警官及び中山警察官駐在所現場に出張檢視を遂げ犯人搜查中なり

◉温突で縊死

京畿道水原郡同郡面梧灘里韓翊龍（七五）は妻と二人暮しにて他に扶養者なく貧しき生計を營み居れるが三月二十七日自宅溫突內に藁繩にて縊死し居るを妻が見し水原署より警官出張檢視の上屍體は妻李老淑に引渡せり

料理

◇鰆の一鹽椀 鰆を一寸角に切つて鹽をふりかけ、一二十分經てから水で洗ひ、鍋に入れた熱湯にて茹で、三分一寸位の蒲淡に通し一寸位に切り、水約三合に三寸角位の煮出し昆布を入れて沸騰したとき昆布を出し、鰹節の削りかけを入れて二三度煮沸したるとき毛篩にて漉し再び鍋に戻し鹽酒、醬油少しにて味を加減し煮沸した鰆の鯉二切と三葉好きほどに椀に盛其汁を注ぎ入れ、木の芽を蓋の上に置いて出す

演藝案內

浪花館 明治町 電話二六〇番
山本松子一行 四月三日より毎日午後六時開演
△前座員數名出演
△義士傳、烈婦傳（長講） 山本松子
△義民傳、神出鬼沒（長講） 燕左衛門

大正館 櫻井町 電話八七三
○四月七日より晝夜特別大興行
▲尾上松之助實川延一郎合同大車輪
◉勤王美談 高山彥九郎 全三卷七十八場
▲薩摩琵琶師村に林桃川出演
◉大陰八活劇 大地震 全三卷六千呎
◉大正名著 うき世 全四卷三十三場

高山彥九郎 大地震 うき世 大正館

壽座 本町 電話五七八
東京有樂座女優團初日藝題
新派 閑子鳥
二番目上顧醍阿波の鳴戸
下 忍夜戀の曲者
喜劇 マグネット
四月九日午後五時開場五時半開幕

黃金館 黃金町四丁目 電話二六三七
天然色活動寫眞株式會社滿鮮一手代理店
四月四日より春季特別大興行
◉賀彌演劇 ◉實錄阿波の鳴戸娘順禮
◉泰西正活劇 義人の血淚 五千呎
◉續篇須磨の仇浪
◉神崎與五郎東下り

壽館 電一〇五 町

こゑる藥
身體やせて種々療養効なく御困りの方 郵券三錢封入申込あれ胃腸を健全にし害なく身體肥大する妙藥の說明書呈
東京市麻布區三河臺町 小川藥院

肺病 肋膜炎 氣管支
には經症三服重症五服にて効能ある良藥を郵券弐錢相添照會あれ治療法豫防法を供に詳報す
名古屋市西區本町三丁目 鈴木盛角堂

酒煙草きらいなる藥
禁酒丸 禁煙液
こんな酒煙草のみでも害なく心から嫌ひになる郵券弐錢送れば說明書及大澤博士の禁酒禁煙論進呈
其他名士の
本舖 大阪市靭南通二 森田商店

◇仁川貿易商案內◇（いろは順）

營業品目 和洋金巾、綿糸、綿布、砂糖、洋紙、化粧品、其他日鮮人向雜貨一式
輸入貿易商 河野本店 仁川本町四丁目

砂糖麥粉貿易商 中島仁川出張所 仁川本町三丁目 朝鮮支店 釜山、京城、元山、龍山

金巾紡績 英米煙草 石油 燐寸 日出洋紙 直輸入品 度量衡器 卸商 赤松商店 仁川府內里

日鮮人向雜貨、貿易商 トライアンフ自轉車特約店 其他舶來最新式自轉車各種 仁川港京町 鬼頭兼治郞商店

取扱商品 米、大豆、雜穀、石炭、水鉛、セメント、三菱棉布、其他 三井物產株式會社 仁川出張所

朝鮮貿易 旗印石油 諸雜貨 諸金物 卸商 吉南方商店 仁川本町四丁目

營業品目 官製煙草、スタンダード石油、三菱棉布、綿糸、綿布、洋紙、砂糖、麥粉、燐寸、洋鐵、釘、人形ミルク 輸移入卸商 鈴木倭商店 仁川本町四丁目

質 京城黃金町二丁目 堀佐營業所

胃病良藥 太田胃散
◎飲過ぎ食過ぎに妙なり
本舖東京 太田信義藥房
全國到る處の藥店に販賣す

蘇峰德富猪一郞著 定價金貳圓 郵稅十二錢
大正政局史論
總クロース 菊版四百卅頁
大正政局變轉推移の遠因近因政黨分合消長の千波萬波其間に活動したる幾多政治家の一進一退微に入り細を穿ちて殺活縱橫一世の耳目を驚倒す洵に是れ政局史論中の白眉也巨擘也
大阪賣所 京城日報社代理部

世界の人氣は更に愈々
パピル
煉香油に集る ポマードに
本舖 東京 平尾贊平商店 大阪 平尾贊平支店

火災後最初の新製品 第二工場に於て
國產 森永チヨコレートバー 森永フレンチ 森永キヤラメル
當社製品は既に定評あり別に解說不致候舊に倍する御愛用を希ふ
ミルクキヤラメル 製造元 東京 大阪 森永製菓株式會社

文部省贊翼
大日本青年講習錄
團長 伯爵大隈重信 評議員 內務文部兩省大臣次官局長陸軍參謀次長其他 贊助員 各府縣知事其他 講師 專門の諸大家
壹個年修業 每月一回發行 特色 每號讀切 程度 現代地方少年に適切 月謝 金廿五錢 第一號 四月十五日發行
見本 規則 通知次第送呈
東京牛込 早稻田大學出版部內
大日本靑年修養團 電話番町三七四番・二四二二番

汽車

宮本武藏

第三回

桃川如燕口演
浪上義三郎速記

窪田杢左衛門の佐々木岸柳は計略を以つて石川嚴流を呼寄せやうといふので小石川富坂に道場を出した、所謂山伏の玄關で表構へを立派にいたし冠木門を前面にして、玄關正面に四目結の紋付たる高張り提灯を掲げ、内には金屛風を樹て、門前に看板を出し其文に

一諸流の劍術弓槍鐵砲棒陣鎌居合柔術薙刀五人詰十人詰眞劍他流試合勝負對手たるべき者なり

三國一無敵流劍術指南
佐々木劍道齋源岸柳
肥州出張所

斯の如く記して出したから大變な評判、何だらうといつて老若男女市をなして之を見る、物見高いは江戸の習慣 甲『何んだらう三國一としてあるから甘酒屋ぢやアねへかしら』△『冗談ぢやアねへ、甘酒屋に門構へがあるものか、四目の紋の付いた提灯が出て居るから樂屋だ、長命丸でも賣るんだらう』○『そんなもんぢやねへ、彼所にお武家が立つて居る、あの人に聞いて見やう』△『けれども三十両下げて書いてあるのが讀めませんからといつて聞くのも外聞が悪い話しだ』○『外聞が悪いといつて、此人等は字の讀ないのは當然だ、恥も外聞もあるものか、エ、お武家様少々伺ひます』 武『何だ』○『御覧の通り私共は無筆で解りません、之は一體何でございますか何卒お教なすつて下さいまし』 武『ウム其は感心な事だ、識らざるを識らずとせよ之れ識るなりといふ事がある、決して知つた振りをするものではない、解らない事は何でも聞が宜い、知つて居る者は悪ろに教へて呉れる、之に限らず何でも知らない事は人に聞け』○『ヘエ有難うございます何でございませう』 武『之は劍術の道場だ』○『ヘエ大層字数が書いてございますが之は』 武『能書は可笑しいがまアそんな物だ、諸流の劍術弓槍鐵砲棒陣鎌居合、柔術薙刀五人詰十人詰眞劍他流勝負對手たるべきものなり三國一無敵流劍術指南佐々木劍道齋源岸柳肥州出張所としてある』○『ヘエ夫ぢやア肥後から出て來たのでございますか』 武『左様だ』○『五人詰十人詰といふのは何でございます』 武『夫は一度に五人でも十人でも好むとあれば眞劍勝負をしてやるといふのだ』○『ヘエ、やい熊聞いたか肥後あたりから出て來やアがつて大層な看板を出しやアがる、一人に五人も十人も懸るやうなそんな卑怯な奴は江戸ッ子にやアねへ、三國一無敵流とは御大層な事をいやアがる、打毀してしまへ』と氣の荒い職人共ブツ〳〵慣つて居る 武『待て〳〵俺が這入つて他流仕合をしてやる、俺が勝てば看板を外して直に此道場を打毀して終へ』○『有難うございます旦那お頼申ます、餘り人を馬鹿にして居るから、腹が立つたので』 武『宜し〳〵餘りといへば傍若無人の擧動である』と右の武士ツカ〳〵と玄關へ参り 武『頼む〳〵』 文『ドーレ』 文『何方から』 武『拙者は青山文平といふ者、他流仕合を一本願ひたく罷出でた』 文『左様でござるか其では此方へお通り下さい』道場へ通して青山文平が對手をする、面籠手を著けてヤツといつて立上りポン〳〵とやると此青山文平といふ男も仲々の技倆、青山文平の爲にビシーリ打込れた、這々の體で武士は表へ飛び出した、○『旦那どうしました、直に打毀しませうか』 武『イヤ俺は少し工合が悪いから止にした』○『止たんぢやアねへ負けたんだらう』△『早くいへばさうだ』△『遅くいつても同じ事だ、其ぢやア打毀す事は出來ねへ、俺が一つ往かう』といつて一人這入る、又負ける、誰が往つても青山文平に勝者はない、弟子でさへ此通りだから先生は大した技倆だらうといつて反つて評判になる、忽まちの間に八十何人といふ門弟が出來ました、其からといふものは石川嚴流を人外の如く嘲罵り、江戸の嚴流も熊本の岸柳が來てから息の根が止つた、死人も同様手も足も出ぬと口々に大言を吐いて居る、之が石川先生の耳に入つた。

入院隨意(診療夜九時迄)
泌尿器病專門
腎臟病 膀胱病 淋病 梅毒 横痃 皮膚病
永樂町二丁目金光敎會隣り
安部醫院 電話一九一四番

お聞きなさい

▲新兵の奇言 新兵が東京麻布三聯隊の營庭で教練をしてゐるのを見てゐると面白い報告の練習で下士が『千駄ケ谷より敵現はる』と敎へると新兵大聲呼んで『洗濯屋より敵現はる』▲モ一つ振るつたのは『基礎を固め』と號令の稽古をさせると田舍出の新兵叫んで『葵を固め』

四月十一日九星
舊三月九日戊寅
本命九紫南開大安

▲九紫●爭論を生じ安き日[illegible] ▲一白●氣に叶はぬ事有日[illegible] ▲二黒●[illegible] ▲三碧●[illegible] ▲四綠●[illegible] ▲五黄●[illegible] ▲六白●[illegible] ▲七赤●[illegible] ▲八白●[illegible]

登錄商標

たんをきりせきをしづめ　ぜんそくに特効あり

最も警戒すべき
たんせきぜんそくの流行期は來ました、何人もこの時期にはふとした事から風邪を引ますおそれが、たんとなりせきとなりぜんそくとなるから決して油斷はなりませぬ、一體どんな病でも油斷は禁物ですが
●たん ●せき ●は
殊に油斷大敵
です若しも病の輕易なのを侮つて治療を怠つてゐると或は氣管支炎となり肺炎となり又は肋膜炎となつて終に一生不治の病に泣かなければなりません、ですから譬へ輕易いたんせきでも早く治療をしなければなりません
即ちたんせきぜんそくの專門藥として最も信用ある龍角散の服用が極めて肝心です
龍角散は香味爽かにて服みやすく少量づゝ用ひて効能著し、ゆゑに藥嫌ひの人又小兒のたんせきに適當す

龍角散

龍角散の偉効
は既に世間に普ねく知られてゐますがたんせき、ぜんそくによくきくばかりでなく一切の呼吸器病に著しい卓効があり、かつ數年の難症に惱む人も怠らず服用あらば氣分は爽快となり病苦は日々に薄らいで終に治癒するに至る

斯る人は必ず試みよ

主治効能
●たんにて常にゴホンゴホン惱む人
●ぜんそくにてゼイゼイいき切る人
●せき頻に出で夜半眠り兼る人
●流行感冒より起るたんせきの人
●肺病にて常に力なきせき出づる人
●たん臭氣を帶び時々血の交る人
●百日せき又はしかせきの小兒
●音聲のかれ又は咽喉のいたむ人
●常に音聲を使ふ人服用あれば咽喉を滑にし音聲の勞れを補ふこと奇妙なり

定價 二日分十錢 四日半二十錢 一週分三十錢 二週分五十錢 一月分一圓 郵送料二錢

本舗 東京市神田區豐島町 藥劑師 藤井得三郎
電話浪花一四二四番 振替貯金東京九一一番
取次 全國各藥店にあり 賣切の節は本舗へ乞御注文

花が咲いて逆上せる頃

腦神經病者は勿論健全の人も特に腦神經の攝養を要する時。
■暖氣に向ふ此頃は折角治りし腦病も復々發作るものなれば、かゝる時こそ効驗確實なる健腦丸の服用を僻り給ふな。

今が健腦丸服用季

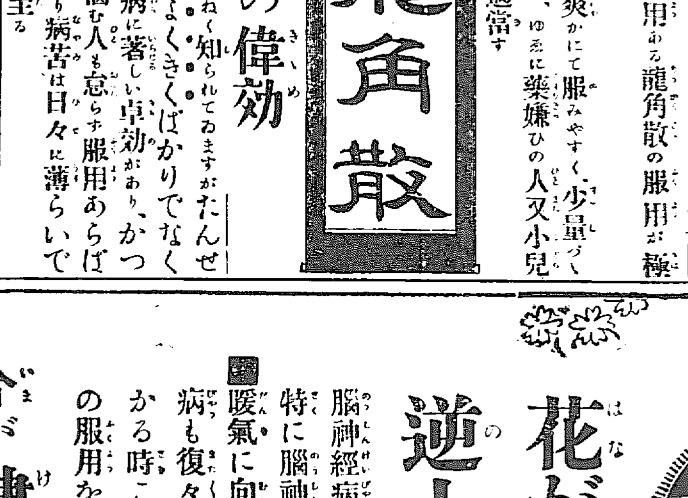
健腦丸は
■腦充血■腦膜炎■腦貧血■神經痛■中風■卒中■頭痛■眩暈■便秘■健忘■逆上■搐搦■耳鳴■癲癇等
一切の腦神經病に偉大の効果あり
常に少量宛服用せば逆上を引下げ便通をよくし、恐る可き腦充血や中風卒中を未發に豫防し頭腦を明晰にし記憶力を增進すべし

■藥價 四回分廿錢 半週分四拾錢 壹週分七十錢 二週分一圓卅錢 五週分二圓八十錢 十週分金五圓

健腦丸は到る處の藥店に販賣す

本舗 東京 大阪 丹平商會藥房

大學目藥



定價金十錢廿錢(郵税二錢)三十錢(郵税四錢)大瓶五十錢(郵税六錢)●各地藥房に在り
入學目藥は帝國醫科大學醫院の處方に基きし貴重の製劑にして●はやり目●星目●トラホーム●のぼせ目●爛目其外眼病一切に驚くべき効能あり●十歳以下の小兒の爲め別に小兒用大學目藥あり

『內外各處に賞用せられ効能最も卓越せるは本劑なり』

大阪北濱壹丁目 參天堂藥房

特許機械製
高等ほまれ味噌
特約賣捌所 京城黃金町 三巴商會 電話三八〇番
京城南大門外 大三商會 電話三二〇番

入院隨意
京城永樂町二丁目(商品陳列館裏門通)
酒井婦人病院
電話二六〇〇番

醇良清酒
體裁優美
一打 半打 化粧箱詰

發賣元 大塚京城支店
京城南大門通二丁目
電話四〇一番 振替五七〇番

新案特許 **麻病熱氣治療器**
麻病は攝氏四十度の熱を加へて其黴菌を殺せば全治し得る事は今や醫學界に確認せられたり本器は熱氣治療器の最新發明品にて價格低廉取扱輕便なれば自宅にて安全に且快速に病を治癒せしむる自宅療法の最も完成進歩せる物なり服藥や洗滌法にて効なき人一日も早く試み同病に苦しむ方は彼是迷はず直にハガキにて御申込あれば療法說明書を呈す
○東京下谷區中根岸八一(振替東京二七八三三番)
日本醫育商會治療器部

朝鮮銀行
當銀行ハ預金、貸附、爲替等一般銀行業務ヲ確實親切ニ取扱申候
京城
振替貯金口座京城三三三番
電話 (一圜)三三一、三三二、六一一 一一〇六、一二六〇、一二六一 一六一三
支店出張所 東京、大阪、平壤、仁川、元山、大邱、釜山、鎭南浦、群山、木浦、馬山、羅南、會寧、新義州、安東縣、奉天、大連、長春
右ノ外內外主要ノ地ニ爲替取引先有之候

京城日報
十日朝刊（夕刊と合せて八頁）
定價　本紙一部金三錢五厘　一ケ月金六十五錢
廣告料
發行兼編輯人　印刷人
發行所　合資會社京城日報社　京城太平通一丁目

…遅れたと云つて最近伯林から歸つた獨逸系の米國人ガレツトクンの紐育…

…まり還つてゐるのには

△魂消にます　晝も夜も別に據つてゐませんホテルでも料…は推して知るべしでね然し問題の…麪は、道がにもとは純白な和麪パンであつたが今では何處でも眞黒い軍用パンの堅い奴ですよ、然し量に於…いものです、グレービーかでもたつぷり…それから問題の馬鈴薯もなか／＼實澤に使はれ、珈琲はブルシャンのみだがこれだけの一食事で値段は二馬…

△食堂列車内　でもそのメニユに掲げてゐるのは平時と大差はないし、旅館の朝餐はいゝパンを食はせる…晝飯には魚が必ず付く、薯も澤山に使はれてゐるソースには例の如くかやくを混ぜた美味いやつを自由に頂けると云ふのだから全く難有すぎる…あるが、魚がある而して麪麭がざつと一（二十錢餘）實際此頃の非常時でも生活費は平和の紐育などよりも伯林の…

△一馬克のもの…は一馬克三十片になつてゐる位である試みにスタンレー河岸の伯林の食物市場に一朝往つて見たが肉でも魚でも野菜でも…らしい

●暴風警報（九日午後四時發）
▲風强かるべし▲低氣位置…七百五十四粍…進行方向…▲警戒區域…

京城日報
獨逸の強き理由

獨逸は何故に強きか、と云ふ問題を、今更喋々せんとするは、或は迂遠者として、世上よりの嘲笑を招かん。然も、此の一語は、實に我國民の、上下等しく、其の兵相を究め、以て長を取り短を捨て、我範となさゞるべからざるは、何人も異論を唱へざる處なるべし。

世界列強を敵手として、二年八九箇月の間、東攻西擊、強露猛佛をして、も、尚ほ未だ其國内に、一指だも染めしめざるは、他各國の、眞似得能はざる處にして、此の間、所謂獨逸の強き理由の存するは、疑を容れざる處なりとす。然らば其の強き理由奈何。

獨逸は既により、軍需品の缺乏を告げ、兵員の補充に窮し、國内暗然たりと傳へられたる事屢々なりし。這は四面敵を受けし、獨逸としては最も千萬なるべく、世界各國人も亦此の報の虛ならざる事を思へり。然し此の虛ならず各方面の情報を綜合する報道は、突と知らん、獨逸國内は士氣旺盛にして、上下幾力、以て、軍國の事業に從事しつゝありと報せらる。さはれ、此の語の異なるにしても、他より供給の少なき消耗品が漸次缺乏しつゝあるは、疑を挿むの餘地なく、從て軍需品の缺乏も、當然の事なりと云ふべし。顧れば、實際獨逸の將來は、心細き哉、禁ずる能はざるも、此の間、倍々獨逸の強き理由を發見するを得べし。

獨逸は何が故に強きか。獨逸の強きは、即ち其の國民の一致にあり、と云はざるべからざる也。今や、獨逸各都市の停車場は、日夜出征軍人見送りの爲に混雜雜踏し、群衆は、出征軍人や、又は其家族を胴擧し、貴婦人の如きに至るも、熱狂的獻盤を擧げて、目醒る計りの花環、リボン等を軍人に贈り、以て、其の門出を祝し、軍人も亦、何れも滿面喜色として、彼等の熱性なるプレセントを銃に帽に飾り、勇ましく遠征の途に上り、老若何れも軍に從ふを厭はず。既に三四人の我兒を亡ひし老翁も、決して悲からず、彼等は寧ろ愛兒の戰死を以て、一のプライトとなして得々たり。彼等は、居酒屋に入りても、我二人の愛兒は、戰死せりと誇り、居合せし人、必ず總立となり、光榮ある老人の爲めにさ一同乾盃を終り、知不知を問はず、其の國家を謳歌して、其の國家に犧牲者の父を、謳歌する事は、市中各所に散見する處なりと。之を英國に見るに、戰爭の爲に、所謂政府發出し軍需品の需用多く、政府の如きは、遂に其の輸入を禁じ、募兵の爲に、諸種の法規迄制定せられ、尚ほ且つ應募者は、俸給を得て戰爭に從事し、彼等は敵を屠る考へよりも、ツエツペリンの來襲を恐れ、潛心兵事に從事する者は、政府當局あるのみの觀あるは、即ち明に、英國の強弱を指示する所なるべし。其の他露に於て、佛に於て、上下幾力、自發的に軍事に盡しつゝある處ありや、或者は壯丁兵役を避忌し、或者は國力消衰し、密に媾和を憾ふきへあり。

吾人は、日露戰役の當時に於て、共同軍國の大事に盡し、以て彼の光輝ある戰勝を揚げ、千古に帝國の武威を示せしに非ずや、戰時の獨逸社會の狀況が、當時の我國情に、髣髴たる所あるもの、如きを思ふ。然るに至つて吾人は、獨逸の強き理由を發見し、何故に獨逸の強きやの疑問は、釋然として、容易に氷解する事を得べし。吾人敢て獨逸を賞讃する者に非ずと雖も、要は吾の更に強からん事を冀へばなり。

京城雜筆　山縣生

▲春暖の候來ると共に、吾人の生活は愉快を增すと雖も、同時に警戒を要するは傳染病の流行なり。昨年の冬は猩紅熱の流行比較的少なく、一昨年の冬の不安を繰返すこと少なかりしは誠に慶賀すべし。我京城市民がこれに慣れて、傳染病に對し不用意なるが如きことあるべからず。今にして周到なる豫防策を執るに非ずんば窒扶斯、赤痢、虎列剌等の恐るべき傳染病の襲來を受くることあらん。

▲傳染病の豫防は之を一に官憲に依賴して、市民が風牛不相關焉の態度を執るに於ては充分なる効を奏し得ざるは言ふ迄もなし。市民は自己の生命を保護する爲めに、官憲と協力して下水の掃除、蠅の撲滅等に大に努むる所あるべし。殊に吾人が注意すべきは今の時に於て蠅の撲滅に盡力すべき事なり。

▲昨年の冬は氣候比較的嚴寒ならざりし故に、蠅の生き殘れるもの多く既に日向よき所には蠅群の飛ぶを見る。其儘に捨てゝおかば今年の春夏は此恐るべき蠅群の繁殖非常なるものあらん。今にして速に彼等を全滅せしめざるべからず。

▲早春一頭の蠅を捕殺するは夏時一萬頭の蠅を滅ぼすに當る。此故に外國に於ては早春に於て蠅の驅除に最大の力を用ひ、之を爲すに費用と勞力とを吝むことなし。朝鮮に於ては夏時蠅の繁殖旺盛なるに際し、之を驅除するの勞多くして効少なきを避け、夏時に用ふる費用と勞力とを今に於て用ひたし。

▲狂犬病も春夏の際多く現はる、恐るべき病なり。既に京城に於て狂犬の現れ、人畜の咬傷される者少なからず。市民はこれに對しても亦大に注意するを要す。世人は一般に此病の如何に恐るべきものたるやを知らざるが如く、犬に咬るゝこともあるもさして關心せざるが如し。此故に飼主も深く注意するなく、世人も大概の路傍に徘徊するを恐ろしとなし。

▲蓋し狂犬病の流行するが如きは人民の智識進步せざるを證するもの、歐米の文明諸國に於ては今や全く絶滅に歸せり。朝鮮に狂犬病の絶えざるは吾人の恥辱なり。之を絶滅するの法として、記者は狂犬に咬傷せられたる場合に其被害者が其飼主に對し重大なる損害賠償を要求すべきを勸告せんと欲す。然かすれば世人は犬を飼ふに當りて注意を怠らざるべ

隣邦時局の觀察（九）　知足

さう云ふ工合で革軍に取つては各省の響應が唯一の武器であり之に因て一日も早く時局の進展を圖る必要がある。それで怒つたか四川の攻略を計畫したり陝西傳ひに北京を脅かさうとしたりしないで矢張り揚子江に沿ふて雲貴宜昌から武昌邊まで乘出すが一番善いのである。隨で政府の方では如何かと云ふと、遠方によつては陝分討伐の方法のつかない事も無い。それは一は交通線の利用で勝つので一は金力で勝つのである。元來清朝になつてから康熙十二年の末に雲南の藩王吳三桂が雲南に據て謀叛を起した事があるが、あの時の吳三桂の遣口を觀ると全く今度の雲南護國第二軍即ち李烈鈞の軍と同じく湖南から貴州を通つて直ちに湖南に攻入つて居る。そして至る所守備兵を蹴散らして洞庭湖の傍の岳州まで進んだ、是時は四川を始め陝西まで吳三桂に應じて亂を起したと云ふから目下の形勢と大體に於て甚だよく似寄つてゐるのだが、さて此大亂を首尾よく平らげた康熙帝の方針と云ふのが即ち交通線を極めて巧に利用して防備配置の手順を整へたのであつて當時湖北の荊州から北京まで日本里數で約六百五十里の所を報告書が五日で屆く、里數約八百三十里の陝西邊からでも九日、四百三十里の陝西西安からは五日、六百五十里の浙江杭州からは四日で屆いたと云ふ事である。電信は固より汽車汽船すべて文明の交通機關が一つも無かつたあの時代としては餘程迅速な手配であつたに相違ない。同時に交通線の要所要所を扼へて敵に活動の餘地を與へない、これで流石の吳三桂も大事を取つたものであらう、一は年をとつて臆病にもなつてゐたらうが兎に角岳州まで進んだきりあとは一歩も踏出せなくてそうこうする内老病で死んで仕舞つた。そこで頭なしの大亂も難なく平らいだのである、其外乾隆の時は外征を盛に行つて蒙古新疆安南緬甸をした事もあるが是等は何れも金にあかして勝つたのであつて金沙江の征伐など戰はかさいにも係はらず征討費は八千萬兩を使つてゐる、乾隆の末年から嘉慶の初にかけて湖南湖北四川陝西を騷がした白蓮教匪の亂などは戍程平定に七年も懸つたからであらう、軍費は一億以上に上つたと云ふ話である、畢竟平定の功を奏したのは軍隊が强かつたからでは無く政府が金に豐であつたからだと云ふ事になる、そして此交通線と金との問題は今も昔と其効力に於て少しも違つてゐないやうである。

なんでも錄　在京　忍生

○今更獨逸軍の強きを賞讃するは野暮なりと雖ども、乃ち其の強きに益す其の強きに驚嘆せざるを得ず。

○獨逸軍は何故に斯くまでに強きか他なし、彼等は多年戰はんが爲めに操練し、戰はんが爲めに武裝し、而して國民一般も亦戰はんが爲めに準備したればは也。

○戰はんが爲めに武裝するは進擊的なり、應戰せんが爲めに武裝するは防禦的なり、進擊的軍隊と防禦的軍隊との間には、未だ戰はざるに兩者の勝敗定まる。

○前者は飽まで戰はんと欲し、後者は何とかして戰のなからんことを欲す。一は主戰主義にして、他は避戰主義なり。彼は攻擊を目的とし、此れは防衞を目的とす。攻擊は積極的にして、防禦は消極的なり。攻擊は機先を制し、防禦は機先を制せらる機先を制して其の戰爭に勝たざるの理なく、機先を制せられて其の戰爭に敗れざるの理なし。

○世人は獨逸が數百萬の大軍を起して、聯合軍と戰ふこと既に一年半を過ぎたれば、最早や大分軍隊に供給する武器彈藥に缺乏を告げ、糧食亦不足を訴ふるに至る可しなど想像するも、其の恃む可からざるを悟らず、最後の勝利を云々するものあれども自國の不準備を以て他を忖度するに過ぎず、思はざるも亦甚し。

○若獨は決して恐獨病に襲はれつゝある臆病人にあらず、然れども其の軍隊の精鋭にして、勇悍なるは事實に於て之れを示せり。嗚呼帝國軍隊も彼の長所を學ぶ所なくして可ならん耶。否らずんば恐らくは彼をして遂に世界無比の軍隊たらしむるに至らん。

咸北の農業（九）
二十萬頭計畫　東拓理事　村田俊彦　(31)

北鮮に於ては農產物よりも更に有望なるものあるに似たり。家畜の飼育即ち是なり。余淺學之を詳にせずと雖も、家畜飼育の如きは最も此邊の地に適するが如し。歷史に就て之を見るも靺鞨の據れる地は主として家畜を養ひし如く、其食ひしところのもの、日本朝鮮支那等の諸朝に貢せしところのもの、皆殆ど野獸又は家畜に關せざるはなし。北鮮の產物を記せる書籍を見るも、藥草類家畜類甚だ多し。家畜中牛は多きも、羊に至りては殆んど之を見ず。之を歷史に徵するも、羊は未だ此地に養はれざりし如きは甚だ奇とする所なり。咸北の牛は其の質宿て評判に聞きしほどにあらず。蓋し山谷の勞働を主とする者多きを以ての故ならん。其の種類も所謂山岳類に屬するものなるべし。明川郡吉州郡に產するものは稍佳なりと云ふ。世界各種の牛に於ても一長一短ありて、一概に優劣を論じ難し。例へば乳汁よりすればジエルシー種、アーシア種、ホルスタイン種、肉よりすればショートホーン種、養ひ易き點よりすればケーリー種、デヴオン種、瑞西種、肉にも乳にも使役にも適する點よりすればシーメンタール種を推すが如し。我國に於ては、使役用の事は之を忘るべからず、然れども漸次乳、肉殊に肉をも要しつゝあり。又皮も大切なり將來此等を加味し、改良せらるゝを得ば幸大なるべし。若し一種にして此等幾多の目的を達し得ずとせば、假令農家の副業として、小仕掛に營むとするも、一家に二種を併せ養ふ亦其一法にあらざるか。或は此法却て經濟上の危險を防ぐを得べし。牛の趨勢に就ては亦議あるが如し。皮革工業者は皮革の柔軟を欲して之を主張し、勞役者は力の强大を欲して之を好ます。近來炙治等牛の皮膚を害すること禁ぜられたるは工業者の喜ぶところなり。然れども尚較傷の缺點多きを嘆せり。近來戰爭の關係より、牛皮の價格頓に騰貴し、一頭の牛にて皮價却て肉價より高き狀況をも呈せり。

朝鮮短歌會（三）

（十一點）一瓶の安眠劑にすや／＼と睡に落ちし小さき命（高山のぼる）

時折は惡しき心の暗さもて君の心をまさぐるもよし（[illegible]）

（十點）生きんとする生の力の閃めける若芽の色をおつこと見入りぬ（[illegible]）

（九點）かりそめの草の枕のかの宵の君思ひ出づ夜の春雨（[illegible]）

かにかくに苦しみつゝも嬉しきは生きむとなせるこの心こそ（岡本乃石）

白髮持つ十一年の貧弱な過去をあはれと輕蔑む心（[illegible]）

爪に沁める蜜柑の汁の黄色きがふさ淋しまる病氣の日に（小戸部夜月）

ほこり立つ町を走りて歸り行く囚人馬車に夕陽が赤し（戸川にほ）

覺めたれば不幸に似たるわが今日の此の決心を拙よ責むるな（佐田剛步）

（八點）そと觸れば脆くも折れし草の芽の其儚さの悲しまれぬる（岡本乃石）

自らを欺きつゝもあゝ長く空の道を步み來しかな（須古よ子）

許らで日々に歌はん術もがな我さしぐむ心の歌を（須古多代子）

悲しやな妹の手紙くど／＼と拙の心のまゝに書けるも（三村秋月）

どうやらかうやら今日も事なく送れりと囚人の如き悲しき安心（[illegible]）

我がいのち陽炎へるかも豐潤の春輝ける野のなかにして（大石赤峽）

汝れもまた生きてかなしむ性なるか白粉を塗る四十女よ（山田きよじ）

あきたらぬ世の中なれどたらちねのおはします故弱く働く（[illegible]）

死せる如く打ち默したる監獄の春の夕ぞうら悲しけれ（戸川にほ）

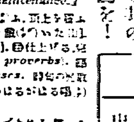
▼英和辭典の二大明星

マスター、オヴ、アーツ男爵 神田乃武先生
法學博士、農學博士 新渡戸稻造先生
ヘラルド、オヴ、エシア社長 頭本元貞先生
監修　三省堂編輯所編纂

新々英和辭典

見よ！初學者の師友と仰ぐべき發音假名付英和辭典出てたり。正しき發音、適切の譯語を以て記述され、世の要求を充たすに足るべき新々英和辭典を諸君の前に提供せんとす。辭書の不完全より受けたる發音又は譯語の不正は永久遂に除くべからざるの不幸に陷るべし。恐るべきは辭書撰擇の不用意なるにあり。諸君が英語に長ぜんとせば先づ良辭書を求められよ。新々英和辭典が英語の發音を假名にて完全に表示したるは僅かに英語辭典の一大革新を促せるものといふべし其の如何に學生のために深切なるかは見よ！次の『内容見本』を！

價格及内容
參萬部限特價提供
特價金壹圓
正價金壹圓三十錢
送料内地八錢
縱五寸一分橫三寸五分總布製
頁數千三百餘假名附挿畫
出來期四月十五日

見本を精讀せられよ◀
208　[CAN—CAP]
cap（キャップ）[名] ㈠縁無帽… Cap in hand. … —Cap of maintenance. …

Cap of maintenance.
cap-a-bil'i-ty … cā'pa-ble … [A capable person=伎倆のある人] This sentence is capable of being altered=此文は變へることが出來る。
（在店書各國全）本見容內

どんな特色があるか？一々見本と對照して其の眞價を判ずべし

㈠發音々符は見出し語に附し、括弧内に假名を以て其發音を示す。
㈡發音假名は細心の工夫を凝らして精確を期し、i, ai, shi 等の別を示し、…の如き假名を以て表はし難き發音は羅馬字を用ふ。
㈢音符詳解は卷頭に掲げ、發音練習の爲、其略解を頁欄外に示す。
㈣語彙譯語は中學程度に必要のものを選び平易を旨とし漢字には大抵訓音の假名を附し、又多く新語熟語を收め譯語は口語體とす。
㈤語の用法は文例を擧げ特に前置詞との關係を明かにし悉く之に適譯を施したるが如きは他に其例を見る能はざる特色なりとす。

二男爵十博士共編
大增補
模範英和辭典
（增補三百頁＝面目更新）

模範英和辭典が英學界の重鎭として江湖の喝采を博し無限の需要を受けつゝあるは何に存するか、本書が從來の漢語譯より脫して、日常慣用の語を以て記述され、更に進んで新語新熟語を網羅し適譯を施したるの事實に歸因せずんばあらざる也。殊に各科專門家の手により周密なる解釋を加へて恰も百科辭書の觀あらしめたるは到底他の企て及ばざる處なり。今回更に最新の語辭一萬五千を蒐め三百頁を增加して其の完璧を期す最新語の橫溢せると語數の豐富なるとは他の群書中匹敵するものなし。試みに次の一例に徵して知るを得べし。

新語の一例……（Pacifism 平和論、平和主義、to loop the loop 宙返り飛行スル、Sidecar 二人乘自動自轉車、deferred telegram 間送電報、air-raid 空中襲擊（飛行船又ハ飛行機ノ）、Zep. つえっぺりん、つえっぺりん式飛行船（獨逸ノ飛行船ニシテ Zeppelin ノ略）、detention camp 收容所、auto-polo おーとぽーろ 自働車ニ乘リテ行フ打球戲等）

價格及内容
參萬部限り特價提供
特價金壹圓八拾錢
正價金貳圓貳拾錢
送料内地十二錢
縱五寸五分橫三寸總布製
語數拾貳萬挿圖四千
頁數二千三百餘
出來期四月二十日

發兌　東京神田　株式會社　三省堂
振替東京二五五五
電本局七二・一七四九

◎第五師團四川に向ふ
宜昌重慶間商船航行杜絶か

出東第五師團の兵約二千六百宜昌に著し九日全部船にて四川に向け出發したり尚第五師團全部と第十二師團も不日來宜すべしとの事なれば宜昌重慶間に於ける一般商船の航行は再び杜絶すべし（宜昌電話）

◎カ將軍の討伐計畫

新聞電報に據ればカランザ將軍はヴイラ討伐の爲め米國軍が餘りに深く墨國內に侵入せるを以て心安からず或る一定の地域迄米國軍の撤退を要求し自己の軍隊を以て匪徒討伐を完了せんとする意あり（東京特電）

◎皇儲殿下還啓

京都奈良方面御見學中の皇太子殿下には九日午前九時二十分靜岡驛御發車午後二時十五分東京驛御著還啓あらせられたり（東京特電）

◎獨逸珈琲缺乏
國內の在品を押收

アムステルダム來電公報に曰く獨逸は愈々コーヒー、茶、チヨコに缺乏を感じたる爲め政府は國內にある右全部の品を押收せり（倫敦電報）

◎陸軍要部會議

本年度陸軍參謀長大隊長其の他部長會議は左の豫定にて開會の筈なりと（東京特電）
各師團軍醫部長會議（十日より約一週間）
各師團獸醫部長會議（十二日より約十日間）
各工兵大隊長會議（廿日より約十日間）
各師團參謀長會議（廿日より約一週間）

◎滿鐵運輸收入

滿鐵の收益は鐵道運輸收入を以て其の主たるものとなすこと今も猶ほ昨の如くなるが昨年度即ち大正四年四月より同五年三月に至る迄の運輸收入は客車、貨車、倉庫各收入及び雜收入の總てを合はせて二千三百七十三萬七千八百十七圓四十一錢にして之を前三年度の二千三百二十一萬六千七百二十一圓五十二錢に比すれば則ち增收五十二萬一千九十五圓八十九錢といふ滿鐵

▲收入の新記錄を作りたり此の未曾有の增收は北滿大豆其他の北滿產物が歐洲戰爭の影響にて其の輸送機關たる東淸鐵道に故障を生じたる結果烏港よりの輸出不可能となり何れも長春に出廻り滿鐵線によりて南下し大連より海外に輸出せられたるが爲にて要するに歐洲戰に伴ふ一時的變態の僥倖に因するものなれば斯る事情の固より永續すべき道理なく其後東淸鐵道の輸送復舊し北滿停滯品の漸次捌け行くと共に浦鹽輸出再び可能となりたる等にて果然十一月の百六十九萬餘圓增收を最高として十二月以來

▲漸く減退を示し來り年度末三月の收入は合計二百四十萬五千三百九十七圓にして前月に比すれば四十九萬餘圓の增收なるも前年同月に比し四十九萬六千餘圓の減收を見るに至れり北滿產品の其後不況となれるも亦その一因なるべし去れば大正五年度の滿鐵運輸收入は四年度に比し當然減少を免かれざるべき狀態に在るも四年度收入の激增は要するに一時の變態に基づくものなれば之を標準として收入增減の步合を定むべきにあらず本年度の收入如何は固より猶ほ豫測し難きも前年度に比し減退せりとて幷は當然の事にて寧ろ常態に復せるものと謂ふべく滿鐵の運輸收入は大體において尨大なる變化なかるべし（大連）

◎關東都督府と建築

帝國議會における豫算不成立の影響を受ける此の三年來關東都督府も前年度豫算踏襲の止むなき結果を來たし之が爲め夙に新築せらるべかりし通信管理局其他の建築も延び〳〵に其儘となり居たるが今期議會において漸く豫算成立を見たる爲め都督府の新規事業も本年は愈々著手せらるべく單に大連に就いて言ふも通信管理局は三箇年計畫の十五萬圓にて本年より新築に著手され大連市役所は同上約二十五萬圓にてヤマトホテルと高等尋常小學校との間に新築の上市役所に下渡さるべく其他猶ほ中學校、女學校、農事試驗場の新築及び高等小學校、公學堂、其他の增築も行はるゝ筈なれば久しく閑散なりし建築界も本年より幾分活氣を呈し來るべく土木界の活氣は延いて一般市況の上にも好影響を與ふべしとて人氣何となく旺盛なり（大連）

◎人造肥と滿洲

日本人肥會社及び三井物產會社は彼來滿洲に人造肥料の販路を開拓せん爲め一昨年來一千俵若くは一千五百俵を試用として農民に分與せし處成績頗る良好にて人肥會社も一將來汎く需要目をなせしが如く將來汎く需用さるゝの曉は滿洲農產を增加する事著しかるべく假に施肥による增收は僅に五分となるも南滿產豆百三十萬噸の時は七萬五千噸は全然輸出さるゝものなるべく幷は又必ず鐵道にて輸送さるゝものなれば強ち人肥に限らず邦人は各種肥料の效果を鮮民に知らしめ田畑收穫增進につき支那人を教養するの責務あるべし、但滿洲にては肥料法の制裁なきが爲め燐酸の如きも其パーセンテージ二十とせば十五を出でざるなどの不良品續出の虞なきにあらざれば此等肥料の一般に需用せらるゝの期には關東州は支那政府と協定して何等かの制限を設くるの要あるべしと（大連）

◎東拓農事施設
宮三面の平野に於ける

全南羅州平野に屬する元宮三面乃ち枝竹、郁谷、上谷三面の耕地は殆んど全部東洋拓殖會社の所有に係り面積約千二百町步田約五百町步を算し土地比較的集團し地味肥沃なるも多少用水の便を缺ぎ且つ該地方の農民は久しく紛爭を事とし農事の改良等には殆んど干與するところなかりしが東拓にては技術員を派して調査せしめし結果今回相當灌漑施設を行ふと同時に農事の改良を促進する事となりしが其の將來農事業の概要を聞くに農事の改良に就ては既に本年より著手し先づ稻種子の改良を圖る爲め枝竹面に十一町餘上谷面に四町餘郁谷面に四町六反合計二十町餘の採種田を設け種子肥料の補給をなし穀良都早神力多摩錦及び高千穗を栽培せしめて優良種子普及の基礎たらしめ且つ農民に改良種栽培の有利なる所以を實際に模範的に示し改良の促進を圖り且つ別に改良種籾二百七十石を無利子にて貸附し枝竹面に百五十七町四反上谷面に六十一町二反郁谷面に九十町步合計三百八町七反步の普及をなす豫定にして其の種類は採種田に於けると同じく穀良都早神力多摩錦及び高千穗の四種なり同地方は氣候溫暖なるを以て綠肥作物の栽培に適せり綠肥は廉價にして肥料分多く他の二毛作をなすより有利なれど用水の配給良しからざれば栽培するを得ざる憾みあるが故に本年は先づ多少用水の利便なる方面の農監をして一二斗落宛栽培せしめ實地の模範を示し其の效果を知らしむべく次に同地方の畑地は大部分陸地棉の栽培に適するを以て其の筋の獎勵方針に基づき之れが栽培を勸誘し其の一部は砂地にして榮山江の水害を蒙むる虞れあるに依り之等の地方には落花生の栽培を勸誘する等成るべく有利にして地方適當の作物を指導栽培せしめんとて其々手配中なり又冬期閑農家の副業として叺製造販賣組合をも組織し叺及び莚の製造を獎勵しつゝあり尚ほ同地方は氣候溫和にして山野に桑樹の栽培の適する所少なからず養蠶には最も適當なるべきを以て是亦大に勸誘する所あるべく斯くして一模範農村となす計畫なりと

◎藥品高と產金界

鑛業用品たる爆藥及び水銀の暴騰が朝鮮產金界に如何なる影響を與へ居るかにつき鮮銀地金課主任の談によれば鑛業用品は昨秋以來數倍若くは十數倍の高値を現はせる爲め鑛業家の受けし打擊は尠少ならざれども猶ほ戰亂の平定と同じく前途下落動きの何時來るべきかは即今豫想し難きに付鑛業家も暴騰せる水銀爆藥等の使用及び買込みを手控へ居る傾向なく從つて產金の數量は減少せず寧ろ許可鑛區の頻出により大勢增加しつゝあり尤も小鑛業家は資金廻り兼ね事業休止の已むなきに至れる者絕無を保し難けれども如斯は問題となすに足らず唯鑛業用品の昂騰が鑛業家の收益を減じつゝあるは爭ふべからざる事實にして苦痛は淺からざるべし

◎西鮮の新航路

朝鮮沿岸中沿岸航路を有せざるは西朝鮮の新義州鎭南浦間のみなるが當局にては地方の要望及び航路の統一上より見て其の開航を必要なりとし既に數回の調査に加へたるに最近も亦南浦並に新義州の兩地より南北の方向に近海及び沿岸の狀況を精査しつゝあるが兩地間は鐵路海に近く通じ三里乃至十里を超えざる距離にあるに立つ關あるべく且つ同方面は人口少なく物資の產出多からず又近海に沙洲羅布し其の沙洲は風勢により位置を移動するものあり航海頗る危險にして一定の航路圖を製作し難き是等の諸點は未だ此航路問題を解決せしむるに至らざるが或は今回の調査により吃水頗る淺き小型船を廻航し明年若くば明後年より開始する事となるらんかと云ふ

◎慶北經濟狀況

▲浦項 ▲市場近況 米價の不昧と諸物價の上騰とは下層民に大なる影響を及ぼし市場取引緩慢にして籾五圓十錢玄米九圓大麥三圓五十錢大豆五圓三十錢▲鰊漁 不斷の漁獲と前月下旬に於ける豐漁とは漁業者間に持直しの氣配を與へつゝあり

▲慶山 ▲穀物市場 農繁期に入りたるを以て出荷少く商況不振前月に於ける輸移出穀物玄米四千二百十石大豆一千六百六十一石白米約百三十五石是を前々月に比し玄米千四百三十五石大豆八百九十石の增加を示せり原因は相場前途弱含みの爲なりと觀測さる▲金融 依然緩漫金利は目下內地人普通二步八厘鮮人間三步五厘最高四步以上なり

▲玄風 ▲產業狀況 餘寒去らず降雨少なき爲め稍々麥の發育を害し一般農民は前途を氣遣ひつゝあり▲市場取引 荷動き少なし一般商況沈靜前月貨物集散の重なるものを示せば白米百卅石（千三百四十四圓）麥類百五十石（六百圓）布類百疋（百五十圓）魚類一千負（一百四十圓）等也

▲軍威 ▲一般金融 當時金融の小康の狀態なりしも前月に入り春季の播種開墾耕地整理等農事季節の爲め資金の需用を見金融稍々繁忙を呈するに至れり▲穀價 穀類漸次品薄を告げ同時に減少大口取引全然皆無の姿にて相場は籾四圓五十錢玄米九圓二十錢大麥三圓三十錢小麥五圓二十錢大豆五圓（大邱）

南方の棟梁たるべき岑春煊

◎大阪財界便り

▲四捕鯨買收 東洋捕鯨の紀伊長門大日本內外四捕鯨の買收資額は通計八十五萬圓以內と查定し之に對する增資額を六十七萬圓と決定し十七日に開くべき臨時總會へ各提案すべく增資は規定上資本金額拂込濟みの必要あるを以て此の際先づ現在の未拂込株金一株五圓に對し別途積立金三十一萬五千圓の內より二十三萬三千圓を割きて一般株主の振替へ規定の下に其の拂込金に充當せしめ斯くて增資を行ふ順序となりて資本總額三百萬圓の拂込みを完了し然る上にて前記買收費額中六十七萬圓は增資中より充當し其の不足分は更に借入金により支拂し尙ほ一面事業船其他の買收費及び被買收各捕鯨重役の慰勞金を七萬一千五百二十餘圓と計上し且つ盡の漁業調査費二萬七千四百圓合計九萬九千八百餘圓は別途積立金中より假に拂出すべきものとし右買收と同時に在來四捕鯨の取締役並に監査役中より各一名宛を東洋側の取締役並に監査役に選出する豫定にて是等は凡て總會當日執行する筈なりと

▲海產業の衰微 大阪の海產業は近來非常の不振を呈せし由にて物に於ける常業問屋は從來約二百餘名の多きを數へ其の取引年額四百萬圓以上に達せしに目下同問屋數は三十一名の少數に減殺され其取引額も亦昨年度の如きは僅々約百六十三萬餘圓に下り而も其の後も一層の衰微を示しつゝあり而も年額十萬圓以上の取引をなすは僅かに一名に過ぎざるを以て頃日同業者は斯業の前途を懸念し斯くては古來著名の靭海產問屋の消滅を見るの外なしとて目下凝議中なり（大阪支局）

◎始政十年史編纂

嚢に朝鮮總督府にて始政五年記念共進會を開催して朝鮮の統治上偉大なる効果を奏し今亦臺灣總督府にても四月十一日より始政二十年記念共進會を開催することゝなりたるより我關東都督府にても來年は始政滿十周年に相當するより滿鐵と協議の上記念共進會の開催を見るべしとの說ありたるも聞く處に依れば都督府にては始政十年史の編纂のみに止め記念共進會開催の議は見合すべしと（大連）

人事消息

▲與倉喜平氏（京畿道警務部長）九日夜入京山本旅館へ
▲野崎七郎氏（忠淸南道警務部長）同上
▲淵元次郎氏（平安南道警務部長）同上
▲小澤鍈氏（平安北道警務部長）同上
▲前野丈藏氏（全羅南道警務部長）同上
▲小河市之亟氏（慶尙南道警務部長）同上
▲櫻井元二郎氏（忠淸北道警務部長）同不知火旅館へ

◎南話北語◎

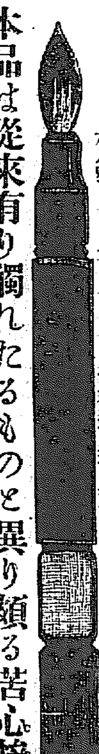
廣東が獨立したかと思ふと最う四省聯合の新政府を組織する相な▲手廻しの早い事だイヤ廣東の獨立は熟柿が落ちた樣なものだからサッサと仕事も進むのだらう▲其れと同時に愈々政治的色彩が明して來る▲廣東と云へば外人は地獄の市場と云つて身震ひして居る相な▲何故かと云ふと道幅の狹い石の市街の四ツ辻や▲寺廟などの空地には種々雜多の商店が開かれる▲就中積異種の男が豚や山羊を屠つて居る▲其の傍には食用の毒蛇がニヨキ〳〵鎌首を擡げて居る▲行倒れが其儘遺棄されて居ると云ふ光景だと云ふ▲之れぢや兎てもやり切れまい聞くだけでも地獄の値打ちは充分ある▲其れに廣東人の惡食と來たら更らに驚く▲蛇を市中で賣る事は孟頂の詩でも分つて居るが▲蝸蝸も食へば水中の油蟲も煑つて食ふ魚を釣るゴカイも生でべロリとやる▲疣蛙や青條蛙などは大に珍味とする▲其れでも廣東料理は世界第一だと粤人は誇つて居る▲イヤ實際美味だと云つて其等の惡食を使つてないから大丈夫▲之れでは廣東政府のお料理も大分見物があるかも知れぬテ▲汽車に乘つても食堂などには決して這入らず▲二十五錢の折辨で舌鼓を打つて居る田尻博士が▲先達奈良御參拜に扈從した時巡査に誰何された▲北雷だから北から來たと洒落飛して巡査を驚かした相な之れも矢張北雷式だらう

□鑛業出願 記事欄外にあり

◎鑛業出願（前承）

▼忠淸北道淸州郡 [illegible]
同 鈴木延吉外二名
同 飯田昭一
同 秋田商會
同 山田寅吉
同 小林勝右衛門
▲金銀タングステンの部
▲水鉛の部
▲タングステン
[illegible]

特價六拾四錢（二割引）期間は六月十五日迄期間後は必ず定價に復す
新案特許三六二九八號
タイヨー萬年毛筆（定價八十錢）



本品は從來有り觸れたるものと異り頗る苦心慘憺の結果實に精巧無比の製作品なれば如何なる文字も如何なる紙質と雖も自由に書き換るは勿論構造堅牢にして永く使用に耐へ穗首は取れ自在なれば實用に適し且つ經濟なり尚普通の毛筆より高尚優美にして一度墨汁を入れば端書三百枚迄は書き得れば携帶用として亦事務用として頗る便利也旅行家外勤家には最も缺く可らざる必要品なれば是非一度御試用あれ
▲穗先は替穗があります　壹個金八錢
▲又携帶に便するためスクリップもあります　壹個金五錢
發賣元　京城太平通壹丁目　振替京城三〇〇番　京城日報社代理部

太陽
春季特別號
■歐洲戰爭と勞働運動……戶田博士
△マルサスの人口論……河上博士
■世界に於ける日本の地位……浮田博士
■日、英、及び世界……スコット
△白熱電燈の過去と現在……青柳博士
■日英同盟の前途……田男爵 寺尾博士
■獨逸潛航艇の活動と海上法理……松波博士
■英國及米國……內田魯庵
■政界の表裏……無名隱士 夜話
△ヴエルダン攻擊の前後……陸軍參謀
■歐洲聯合諸國の經濟同盟……堀江博士
■日支經濟同盟の將來……小川博士
△新嘉坡暴動顚末事件……末廣一雄
■戰後思潮と軍國主義……津村博士
■一人の女の手帳……與謝野晶子
■臺灣句行……巖谷小波
■文藝評論 二つの道……阿部次郎
春季大附錄
小說 故鄕（長篇）……中村星湖
小說 船室の夜（長篇）……北村滿六
戯曲 最後の晩餐……秋田雨雀
小說 行路……中村孤月
小說 二年後に（長篇）……田山花袋
定價五十五錢 郵稅五錢 本號は（大增刊）につき
東京日本橋本町 博文館

一、居式壹ケ年產額約壹萬五千貫匁
右拂下ク詳細ハ四月十日以後ノ朝鮮總督府官報ヲ見ヨ
朝鮮總督府

一、印刷用紙高砂印外八種
一、舶來クロース貳百四拾本
右購買ス（全部又ハ一部ヲ得サル者ハ一部ヲ以テ入札スルコトヲ得）詳細ハ四月十日以後ノ朝鮮總督府官報ヲ見ヨ
朝鮮總督府

一、小蒸汽船壹艘
右借入ス詳細ハ四月十日以後ノ朝鮮總督府官報ヲ見ヨ
朝鮮總督府

購買入札
一、巡查用長靴短靴五千六百四十足
右購買ス入札希望ノ者ハ本日以降ノ總督府官報ヲ見ヨ
大正五年四月十日
警務總監部

株式名義書換停止
本月貳十五日ヨリ五月□時株主總會終了ノ日迄株式名義書換ヲ停止ス
大正五年四月
東洋拓殖株式會社

易は桐原に限る 人事百般並に家相專門
本館は多年の研究と學術とを以て百中百的なり
本町三丁目 總監部入口
陰陽學士 桐原象考

處世と修養 自己の爲めに
三十五銀行頭取 小山健三先生序
加藤彰廉先生序
下河內十二先生序
井上如眞著
四六形美本 石版插畫入 定價金三十五錢 郵料金八錢
人生の行路に躓し一歩を誤れば人後に隨つ本書の微意茲にあり敢て勸む
◎汝は何に依て向上を期するや（好評十一版）
京城本町一丁目 振替京城二五七三 電話二〇八六
賣捌所 大阪屋號書店

無茶苦茶に素ッ破拔く
文壇樂屋雀 新著 □田稠伯
內容は非常に珍奇怪談

シクジリ叢書
第二編 文壇失敗談
珍奇手烈抱腹絕倒の大シクジリ悲喜を最も無遠慮に素ッ破拔いたのが本書である、閨秀作家の祕事內面なく暴露さる、文壇生活の裡面史であり、亦文學及び文士に興味ある人々に贈る
冠無宰相失敗譚
記者白く無茶苦茶に素ッ破拔かれて
大日本新聞學會出版部
持約店 京城 大阪屋號

鑛山用測量諸器械 京城本町 シンサキ

●盜掘の取締は容易でない　重石の本場は戰さの樣な騷ぎ

＝出願者以外の重石密賣者＝不要は何故多いか＝怪しい買鑛者＝他の人と土地の人＝夜陰に乘じて盜掘＝嚴重なる官憲の警戒＝

タングステンの本場と謳はれる忠北の中でも忠州は其の主產地の咽喉を扼してゐるので同郡內をはじめ提川、陰城邊りの山々を跋ふ者は是非とも此處を往來しなくてはならぬことゝなつてゐるされば道廳の所在地たる

□清州から忠州

の間を通ふ自動車の如きは日に何回と無く臨時を出し全力を擧げて客を運むでゐるに拘らず何時も滿員又滿員の爲め、中には乘車券が買へないで許りに二日も三日も宿に待けて居た者もあつた、鑛業令實施後の今日では多少小康の觀はあるが、其れでも忠州邑內は依然開闢以來の人氣を湧かしてゐる、斯樣に重石を追ふて此處に集る夥しい旅客や之れに狎弄する土地の人等は如何な階級の人で、また如何な風に重石に干與つてゐるかといふに、商賣人あり醫者あり、辯護士あり百姓あり、高利貸あり鑛山師あり、また外國人ありで其外來者たると在住者たるとを問はず殆ど

□各般の階級に亘り

之を地方別に見ると最も多いのは矢張り京城の人だけれども平壤や釜山邊りの顏も見え、又遙々內地から出掛けた人もあつて有ゆる地方を網羅してゐる、本紙で紹介した鑛業の出願者に意外の邊から意外の顏が殘つてゐるのを見ても大體の消息を窺ふことが出來るだらう、然し此出願者は多くは山を發見し若くは此處に資本を投じて兎に角自ら經營しようといふ眞面目な計畫者だけれども此邊では左樣な氣の永いことよりはもつと見易く金の蔓に有り附いて一日も早く甘い汁を吸はうと志す連中が尠くない、斯ういふ連中にはまだ一般が重石の智識に淺薄な處へ附け込むで

□詐欺的の行爲

を事とするものも無いではない、又自身盜掘者となつて山に隱れる者もあれば或は乾分を放つて目星しい鑛脈を掘り取らせるものもあるが其大部分は鑛石の密買を事としてコンミッションに狂奔する連中である、何しろ一斤三圓四圓といふ高價な重石が此邊では一圓から一圓四五十錢まで密買され、朝鮮人などの手から出たものは二月頃でも五十錢臺を上らなかつたといふのだから、此連中の儲けさ加減は莫大なものである、尤も買鑛といつても發掘者から買ひ取つて

□直ぐ選鑛所へ送

ることも樣な連中ではなく大抵は一方から一方への仲繼者だが其れでも一儲け位は容易に取つて是程ボロイ儲けは滅多にあるものでない、相場の極つた重石が商界では何故斯んなに安價かといふと色々な事情もあるが其の一は盜掘品の多い爲めである、鑛石の盜掘に就いては官憲でも全力を盡して警戒してゐるけれども、彼等は夜陰に乘じ溪を渉り山を攀ぢて手當り次第に盜掘するのであるから之を捕へることは容易の業でない、又買ひ取つた

□鑛石が盜掘品だと

判れば忽ち沒收されるのだが、今日では私有地で以て勝手に掘り出す者が殆んど到る處に發見される爲めに一度山から出て來れば夫れが盜掘品か否かは却々判明し難い、斯くて重石鑛は正不正品共に入り交つてドン〳〵掘り出され、密買者は旅の人と土地の人とを問はず或は亂れ或は合して盛に此邊に奔走する、儘かな事は判明せぬが此邊の買鑛者は旅の者が三分土地の者が七分で其總數は忠州の日本人數と伯仲の間に在ると噂されてゐる

◉肅やかなる追弔法會　九日の覺皇寺

故中樞院顧問趙義淵、故全羅北道長官李斗璜、故堂師金古淵三氏の追弔法會が九日午後三時三十分から北部覺皇寺に於て行はれた

◆故人を憶ふて　啜り泣く樣な春の雨が擣々と降りそゝぐ中を馬車人力車を驅つて集まつた人は總督代理藤波通譯官、石塚、宇佐美の各長官、李完用伯、趙重應子、金春熙男、小原忠南、李（軫鎬）全北、李（圭完）江原、申咸南、柳忠北の各道長官、國分李王職事務官、兒玉警務官、其他朝鮮貴族、朝鮮商業各銀行長其の他日鮮の官民數十名いづれも故人が

◆生前親交を結　んだ人達であつた、本堂の中央に設けられた祭壇には故人三氏の位牌、供物の飾られ、二基の法燈が風無きに搖れて、位牌に映ふるも蕭やかに法會の式は始まつた、僧侶の讀經、祝詞、文の朗讀が終ると主催者を代表して趙重應子は別項の祭文を朗讀した、その故人を憶ふ言々句々一として

◆涙を誘は幻も　のはなかつた朗讀が濟むと趙秉灝氏の遺族趙拜顒、旭顒諸氏の燒香拜禮があり續いて趙重應子の嚮導で藤波總督代理、石塚、宇佐美各長官その他の參列者の燒香があつて余くて式の終りを告げたのは四時過ぎであつた、旅行中の朴泳孝侯から「今聞三氏追悼之報不取敢衷懷之情謹表」の電報及び寺內總督、阿部本社長は各一封の香料を手向けた

天不憖遺前年矩堂俞公遽歸道山未幾月祀閔趙公繼逝至今年李斗璜公計音自全北官舍而至嗚呼傷哉古人曰親知中時復抽了兩三人直是可惜此以尋常哀舊之言若趙重應等昔托同志義備經同患難風雨星霜論均骨肉幸得次第生還明展素蘊而年耒老蓋庶幾扶將依倚以驛晚景者何圖連年之間威抱槍壺環顧茲世吾儕之中殆有老成典型寥落將盡之感九原難作素心誰托茲乃宿昔同情處設三位追悼之會以寓悲衷茫茫高厚其有不味血開知也歟嗚呼傷哉
大正五年丙辰四月九日　趙重應等

◉新しい練習船　群山水產學校の進水式

群山簡易水產學校では昨年開校と同時に釣漁練習船開也丸（三十石）を建造し生徒の實地練習船に當てゝあつたが本學年度に於ては生徒學業の進歩に伴ふ必要に應じ更に鰹漁練習船として古群山丸（五十石）と別に落網漁船二隻を建造する事に決定し先き程から群山正木造船所に於て製作中であつたがいよ〳〵右二隻とも此の程竣工を告げたので去る二日午後一時より同造船所工事場に於て盛大なる進水式を擧行したるが當日は官民多數の參列あり非常に盛況を呈して散會した（群山）

◉春季演武大會　鍾路署に於ける

九日午後一時より京城鍾路署に於て春季演武大會ありたり參集せしは京城府內各官署勤務の人々にして憲兵隊司令部、警務總監部、京畿道警務部、本町警察署、鍾路警察署、龍山分隊、憲兵司令部、京城監獄、西大門監獄、京城中學、專修學校、武德館、鐵道俱樂部等の劍客にして同署にては構內後庭に大天幕を張りて演武場に充て擊劍三本勝負、高點者の試合等約六十回あり此の日雨天にも拘らず參觀者頗る多く古海警務總長各警務官以下府內の各隊署長高等官席の爲め入京中なる全道隊長會議列並に閔李王職長官子爵尹德榮、務部長官等の參觀あり終つて立食の饗應あり盛會裡に閉會せり因みに劍客中京城中學校生徒木村行義氏の五人拔きを贏ち得たるは頗る注目に値したり尚劍客中左記諸氏は審判員なりし（いろは順）

大石虎吉、香村幸助、奧田宮次、高橋虎大、故島松太郎、山口豊太郎、石井松次郎、赤平長一、櫻田順三郎、岩谷一、堀之內鹿雄、後藤仁平

回春園の俳座

◉雨に煙る「回春園の俳座」

樹梢には囀り、樹下には下萌えの亭裡＝近來の怪氣焰

偶々の雨が一時と成り二時と成つても降り歇まず回春園を取り續る松林は穩かに楊柳の芽の綻くに嫉つた上をも一層濃く霞ませて根方に積んだ落葉の底には春の芽生えが下萌えかゝる九日の日曜、雨を犯して走せ參じたのは孰れは其の道の好者家の名夫れが

□■若松林の奧の奧たる回春園に辿り著く迄には一趣苑は道を遮へて山に登つたり谷條網に引懸つたりして不圖氣が著く散歩の彼方を狼狽だしげに栗鼠が逃げ出し頭上の梢には何の鳥か頻りに囀つてゐると云ふ俳味橫溢した情景に、やつと辿り著くと直ちに崖城博士の嗜好に惜し氣も無く雅を投ずると云ふ有樣

□■雨の爲めに却つて添へられた得難い興趣の深さを以なに傳へあひ乍ら壁上に揭げられた「春雨」「蛙」各二句吐に苦吟する態も甚だ別室に用意された賽紙に惡筆を呵す第一人者は依然として大塊翁で烏兎長官も仲々負けてはゐずお得意の觀音を描きなぐり返す筆先いとも鋭く崖城博士の馬に、「竹庵の雨に豚描く（月永哉）」

□■は烈しい大塊翁は柔顔しいうちに暗に諷して「馬拔落や道にさまよふ春の野邊」とやつて崖城博士に當ると烏兎長官は直に取つて「馬尾郎の雨に苦吟す遅日哉」とやつて睹聞に揭げ以後崖城を馬尾郎と改號しろと云ふ淒まじさ次に又大塊翁が「一鞭二鞭に飛ぶ雲雀」と主人の馬には爺軒の坊主には「夜短に墮落坊主の諦名哉」

□■こやる例に依つて最も聊か都上りの烏兎長官も當るべからざるものが見えた其爲めかあらぬか烏兎長官は大痴社長に鋒先を轉じて『合作の俳句成る時嚀りす』と代筆丈の記者に迄飛沫を掛ける其處で『春の雨古都の大守の濡れて來し』とは早速の御返禮、驚いて俳味の海老の天麩羅と云ふ俳味の浸物に

□■勝つた馳走が出る酒三行にして益々氣焰は昂り爺軒、魚骨、虎耳、袋人、黃丘の宗匠株竝ひ合ひの論議が遂み此會の作の出來榮えで決定しようと迄成つたのを『何れ來月あたり又パコタ公園でやらうから失れ迄』保留して置いたらよからうと云ふ大塊翁の水がはいつたので先づ〳〵穩便に事は濟み愈々苦吟の作の披露が爺軒の音で讀み上げられる故意と互還はしない事にして―まだ降りしきる雨を衝いて一同が再び木の下道を辿り出たのは午後六時近い頃であつた（苦露記）

附記　吟句は何れ次號に御披露の事

□春の仕度　流行のいろ〳〵

春はれの春の氣分は道行く婦人の粧ひやかな春著にも帶にも、花とまがふ洋傘の色にも漂うてまゐりましたが

◇今年の新意匠 を調べて見ますと縮緬や綸子模樣の繻に鮮かな色で花模樣や青海波を染め出した二枚重ねのものなど中々に華かで令孃の裝ひとして最も眼を惹くらしく價格は三十七八圓位です

◇少し地味向き では茶系統の錦紗御召の一枚著十八九圓位の品が喜ばれ、養老御召の黑つぽい紺や錆茶のぼかした縞に銀絲を厭絣にあしらつたものは、意氣向きに歡迎されるさうです。これに

◇刺繍で飛模樣 を飛ばした好みはコートにも著尺物にも恰好ですが、價は少し上つて廿二三圓位、それから錆茶、鶯茶の立縞御召もちよつとした外出によく若向きには

◇赤味の入つた 縞もありますが、價格は十四五圓から二十圓位迄です。又帶地では羽二重紋の片側地が年增向きには澁く若向きには派手にさま〴〵な色で絞り上げられて十二三圓までまち〳〵になつて居ります

◇高浪織の新しい片側模樣に黑繻子の縫模樣を腹合せにするのも流行に添うた好みですが、價は高浪の方が八圓位、黑繻子の方が七八圓から十四五圓までゝす、それから洋傘ではミカド傘が賣行よく、七圓五十錢位から十二圓迄ありますが色は若向きには

◇綠や黃や其他 華かな茶系統の物が多く、三十歲前後には黑地に赤の縞入、それにまた縫ひを入れたものなども高尚であります

◇普通の洋傘は 大抵甲斐絹地で、無地物なら三四圓ぐらゐ、琥珀地で五六圓から十四五圓位のものです。紳士用にはステッキ代用のものを相變らず受けて居ります。價は七圓五十錢位、次に

◇大人の帽子は もう型が定まつて居りますが、子供の帽子は成るべく意匠を凝らした珍らしいのが可愛くもあり受けもします。生れて間の無い赤ちゃんには、フード型と云うて

◇羽二重製のが 一番よろしい。これには麻レースの付いたのもあります。七八十錢から二圓迄、舶來のは二圓です。又大黑型と云ふのは春向きには羽二重製ですが、初夏向きにはサンハットと云つて麻製のものがあります。

◇お似合の年頃 は二歲位まで、一圓から二圓五十錢迄、舶來のは二圓五十錢します。三歲位から五歲までには矢張緒口型がよろしい。これは飾の變化位で型には變りがありません。二圓四十錢から三圓迄

◇小麥のタスカン は昨年頃よりも稍に廣く總じて大振りのやうに見受けます。型には大した變りも有りませんが飾りに天鵞絨を使つた新らしいのが出來て居ります。又

◇繻子リボンを 使つたのも流行です。一圓位から四圓迄。羽二重には五六十種も型の異つたのが有りますが今年の流行としては一體に飾りの少い方で、四歲位から十歲位までのが八九十錢から二圓迄です。

▼忠清北道忠州郡　出願月日　所在地　出願人氏名　▲輝水鉛　▲金　▲金　銅

入院隨意　京城南大門通三丁目（藤本商店横入る）　胃腸病院　院主　佐々木杏造　電話一六五九番

京日案內

▲普通（一回五字詰三行金三十錢（但割引）一回毎に金五錢増）

◉子供入用　十五六歲迄　京城本町明治町角　津村入三郎　79

◉貸間を求む　官吏夫婦にて臺所付き三間許り清潔なる貸間を求む（姓名在社）80

◉店員及小僧二名至急入用　希望者は來談あれ　青葉町二丁目百廿番地　大橋大三郎　81

◉店員入用　年齡廿歲前後市內に保證人を要す　當人來店　京城本町　大阪屋號書店　76

◉乳なき御方へ　◉乳母里子預りたし　御用の方は明治町二の四旅館中村方へ

◉明治町フランス教會手前　ほねつぎ▲うちみくじき治療　◉電話二五九五番　荒川仁壽堂

◉入用　三十歲以上の裁縫師入用　御希望の方は來談あれ（住込み）京城新町若森樓　65

◉知人露店開業地を求む　京城苑南洞一二〇　香川　電話京城六九　61

◉古本ならば　京城本町一丁目（明治町筋）電二六三六番　野村書店　16

▲番外（一回三十字迄金五十錢）

▲羅旋盤工を需む　京城古市町三十七番地　自動車修理所　82

◉皮より強い　專賣特許　手提鞄　大長さ二尺四寸より一尺迄種々あり　京城本町一丁目　朝鮮一手販賣　高木商店　68

▼鑛物各種分析　京城大平町二の一二五　坂本分析所　49

朝鮮屈指一大市場の中央目貫の場所十年賣込得意付日鮮諸雜貨賣上多大純益一ケ月二百圓以上大急店舖居拔の儘家屋宅地共に讓渡したし（姓名在社）78

牛乳配達募集　年齡十七八歲より二十一歲迄希望者本人來談あれ　明治町二　朝日牧場　電話二八一八番　75

▲毛皮ナメシ專門　▲親切迅速染仕立地方郵送の事　京城黃金町三　電話取次二一〇　和泉商行　73

▼讓店アリ▲　各種商業に好適の店舖陳列戶棚及び造作付裏庭に完全なる倉庫專用水道設備あり　黃金町二　梅要場所　姓名在社　71

▲特製……草餅……賣出し　▲製菓……博士……本城屋　京城本町一丁目　電話二三四三　70

電避雷針　材料器具廉價販賣　工事町嚀迅速施工　京城明治町通　鈴加藤商會　電話長一四七二番　77

株　世界は空前の大戰爭　富豪となるは今株式戰　◉公債株　◉現物問屋　京城本町二　電話九九三　田中友吉商店　3

◉花柳病外科專門　▲司生堂醫院　入院隨意　京城南大門通（農工銀行裏）434

各種萬年筆修理應需　地方よりの修理は往復端書にて照會次第見積差上候　京城若草町一六四　秋田屋地方部　13

新刊書御案內

書名	著者	定價
カイゼルの裏面	グレベパイン博士	九〇
女探訪	加藤咄三郎	七〇
和歌の作りやう	歌道獎勵會編	七〇
畫家の妻	島城	六〇
百鬼閑の粉粋	流麿 栗水	三五
金奥のうろこ	上司 小劍	三五
安易生活と食物の活用	山田	六五
女學校出の花嫁さん	奧野他見男	四〇
女は麗性である	北馬	八五
伊太利から英國へ	本間久詳	一、三〇
珠玉鈔	松本 苦味	九五
勞働運動の哲學	大杉 榮	三五
哲學と文藝	桑木 嚴翼	一、二〇
農村生活三十年		四五
李少南書帳	金圭節	二、〇〇

京城本町　大阪屋號書店　電話二〇八六　振替京城二五七三番

腦病良藥　レーベン

醫學博士を初め內田、肥田諸大家が有効を證明し…　退學の腦病患者は最終の試藥として本劑を服用あれ、レーベンは容積こそ小なれ體其を惜らず服用せば極めて少くして効顯極めて大なり

藥價（三十錢・五十錢・一圓六十錢・一圓八十五錢）

東京銀座弓町　電話京橋二〇八番　中南定太郎

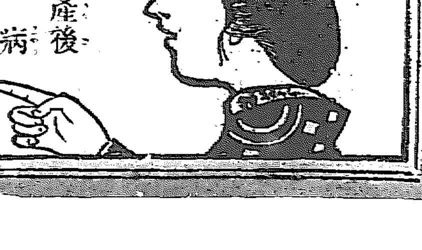
大阪安土町堺筋　電話本三四七番　中南定太郎

信用ある藥店に有り

家傳靈藥　ぢの藥　痔疾一切　御求の際は小松

◉ほねつぎ（うちみ・くじき）一切の治療御依賴に應す　明治町　柔術道場

◉小包荷造箱製造　並に空箱買（京城郵便局向ひ）京城本町二の二　電話二八〇一番　長谷川製箱所　21



喜谷實母散

產前、產後　婦人病　血の道　一切の良藥

主治効能　▲血の道　▲子宮病　▲こしけ　▲白帶赤帶　▲足腰冷込　▲下腹痛み　▲產前產後　▲氣ふさぎ　▲難產流產　▲逆上頭痛　▲經期腹痛　▲月經不順

定價表

本法	壹貼	金拾錢
同	參貼	金參拾錢
同	五貼	金四拾五錢
同	七貼	金六拾錢
同	拾四貼	金壹圓貳拾錢
同	廿一貼	金壹圓六拾錢

本舖　東京京橋區中橋大鋸町　喜谷市郎右衛門　電話京橋五五番五六番（振替口座二一五四番）

賣物あり御求めの際は喜谷實母散と御指名願上候

千生瓢（178）

須藤南翠作　筒井年峰畫

犬山城（五）

拒絶の凶報に接した中川高之は、烈火の如く憤つた。

『足輕頭の分際を以て、我等の望みを拒絶するとは、以ての外の身の程知らずぢや。所詮縁のないものならば、初手に之を斷るべきに、平左衛門風情の娘が、大身の御目に止つた事、此上の譽れはおざらぬが、支度萬端一時に賄ひ兼ければ、暫時の用捨なを申し居つて、今に及んで不均衡の縁を名として拒絶する彼奴が心術、世の評判とは反對の腹黒ぢやよ。中川ともあらうものが、彼奴が爲に操られて、此日來心の底を見透されたのが口惜しい。察する所、已が器量分際をも辨へず、此の城代を奪はれたを、遺恨に思ふからであらう。假令其ならば此方にも覺悟がある。えいわ、今に憂目を見せてくれうぞ』

諸士の座上に立つ者ながら、高之は忽ち失繼の鬱憤を、公事の上に酬はうと思ひ決めて、竊かに其時節を待つて居た。

毒蛇の炎を吐いて、身後に狙ひ寄るとも知らねば、平左衛門正継は、中川の縁談を斷つてから、小蒼蠅い同朋の來訪が絶えたのを悦んで、偏に公武備の及ばざるを憂ひ、組下の奉公を勵して、只管誠忠を磨いてゐると翌月の朔日、一家中総登城、拜禮の席に於て、國司信雄卿、正継の退席を支へさせて、君前へ呼び出した。正継は何事とも知らねど、膝行して拜伏する頭上へ、

『やをれ平左衛門、信雄を主とは心得ぬか』と、直々一喝を浴せられた。

『はッ』と再び頭を下げたものゝ、上意の仔細は一向に解せなかつた。

『其方當家には新參ぢやが、元々織田殿舊恩の者、我等に對して奉公の粗略は出來ぬ筈ぞよ。不埒者め』

信雄は聲を慄はして激怒した樣子である。正継は意外の御叱りを蒙つて、益々惑ふばかりであつた。

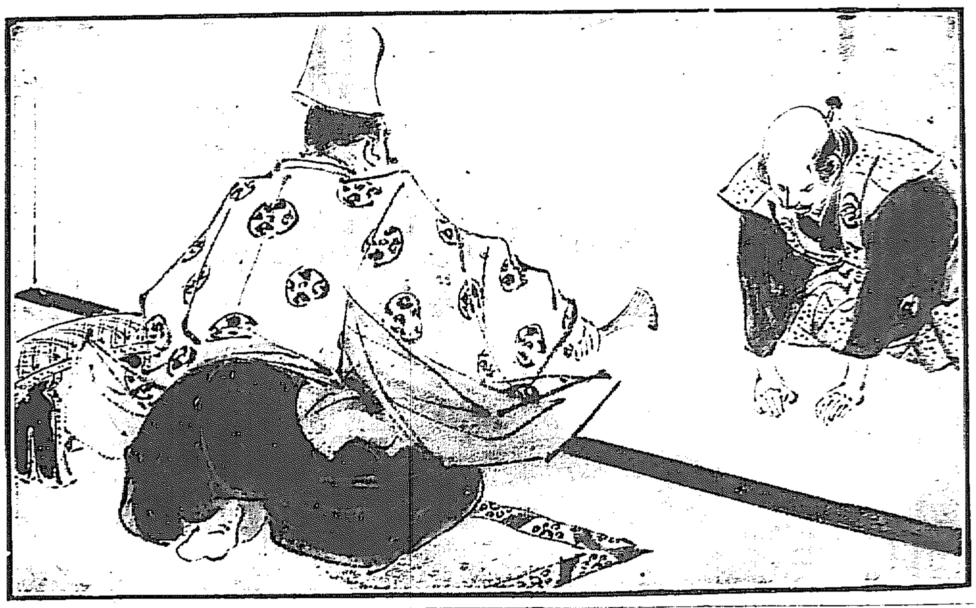
『其方五百貫の知行を取らせ、足輕頭に申し付けたを、不足とばし思ひ居るか。妻を迎へて子孫永く奉公さする心懸もなく、放埒惰弱に身を持ち崩して、貧窮に陷る條、畢竟上を輕しめたる致し方ぢや。仍て今日より鐵砲を取り上げ、足輕共を免ずる間、左樣心得い』

不意の不首尾、而も直命、正継は更に身に覺えのない事ではあるが、既に御勘當を被つた上は、一言の返すべき詞もなく、是非なく悄々と退出した。詰所へ歸つて上役に其よしを披露し、單身一僕のまゝ城を出ようとする時、生憎中川勘右衛門の下城するのに行き會つた。惡い時に惡い人に會つたものとは思ひながら、已むことを得ず、路を讓つて式代に及んだ。勘右衛門は態な馬より下つて正継を人なき所に招ぎ寄せ、

『今日は散々の御首尾にて、貴殿にはお氣の毒に存する。去りながら貴殿も知らるゝ殿の御氣象、怒に御執成など申し上げては、却つて御爲め宜しからずと存じて、一同口を噤み申しておざる。故右大臣より賜けられた貴殿、必ず思召し返さるゝ機もおざれば、暫く御忍びなさるやう、及ばずながら我等も同役共と相談を遂げ、御前體御執成し仕つるでおざる。氣を平かに持たせられい』と、慇懃に申し慰めて、名殘惜しげに下城した。

正継は流石に感涙に咽んだ。大國の老臣に備はる程の器量人とて、婚姻破談の事などは、はや忘れたやうに、懇切に勞はらるゝ情誼の程の嬉しさよ。云はるゝ通りの殿の事、乾度再び思ひ回し給ふ事もおはさう、兎も角も御預りの品々、跡踏なく返上申し、家に蟄して、後日の御沙汰を相待うと、正継も雲の彼方に薄陽を見出した心地して、家に返つて引渡しの用意を整へた。

其翌朝の事であつた。組下の足輕共は、頭の不首尾を聞いて、我も我もと駆け付けたが、正継は一人たりとも面會を許さず、役人の出役を相待つ處に、御目付多聞官左衛門、武具奉行渡邊權太夫が罷り向つた。



■銀巣會小集

蛙

裏子の寢あかす蛙晴鳴り
椿夜闇に埋もる藪畑蛙ある
町床の風荒れ日蛙閑鳴けり
家々の灯の薄らと雨や鳴く蛙
蛙鳴る銀線の雨しきりなり
蛙とび靜けき水や小雨打つ
谷川の水靜かなり鳴く蛙
雨照る路の葉に行く蛙かな
雨やんで浮草に見る蛙かな
寒村の夜明けよと鳴く蛙哉
傘の人蛙の聲に足早し
森けむるあたり村社に鳴く蛙
樋の口に蛙鳴きけり夜靜か
關の松片照りに水田鳴く蛙
借り風呂は温湯遠田に鳴く蛙
夜汽車遠退くに蛙鬨鳴くや
下駄歯なる砂利擦に蛙鳴きしきる
砂塲吹く草風濕り蛙鳴く
溢れ井のはね捨つる釣瓶鳴く蛙

泥同同對三汀樂天墨行子楫水不同草同同同
下　洋木々水水溪人明水澄足　二

東山社吟集　長城　翔郎　報

果實調習接木の餘枝に入集ふ
接ぎ終へて麻畑く岡や午下蟲
寶き踏む峽峨の灰岩既晴れに
諏訪焼く畑や富士の片靄
山機や峰に思案の夫婦鹿
淡靄や鳥立ちて湖心輪にゐる
花に蟲る大和は垣に蛇の鳴く
畫漁瞰くに海堅す船や花蟲
溪流に杉千本や路の蟲

翻浜解其天少潤痴渓
水水郎凡留藤身天石

路の暮賃街に得て酒の事　木花
毛網や遊の辻説法や日の永き　同
初雷や水底に小蝦跳ねを擽す　府
人柱立ちゝ築地や蘆芽吹く　同山

新刊紹介

▲東華評論（一の一二）十錢北京東城錫米衍二八其社
▲月刊樂譜（五の四）八錢東京市京橋區銀座四の四山野樂器店
▲流行（四月號）十五錢東京市日本橋區通町木原呉服店
▲圖書月報（一四の六）五錢東京市日本橋區本材木町二の一六東京書籍出版組合事務所
▲常盤木（四月號）二十錢東京市小石川區東柳町二九其社
▲日本國教大道叢誌（三三四）十錢東京市小石川區關口町一九〇大道社
▲日の丸（創刊號）美しいそして繪になる色々の繪に假名で說明がしてあります（八錢東京府荏原郡エビス文政社）
▲正則中學講義錄（一學期一號）尾崎行雄氏を會長とし文學博士遠藤隆吉氏理學博士山内繁雄氏を顧問とし專ら通教育十二課目の外更に政教育を科外講話として載せたり講師博士學士諸氏中學二年程度の課目の下に各科要を摘み特に集めたり入學の好機を逸する勿れ（一冊月五十錢東京市神田區駿河臺袋町大日本國民中學會）
▲オーグル（一の六）現代の名士及び名妓の面影をキラキラと纏めたり（十錢東京芝區虎の門其社）
▲帝國青年（四月號）健實なる思想を鼓吹し帝國青年の修養に努め帝國青年の文藝作品募集に應ぜんとす本號には大勢言の規定を發表せり（十錢東京市麹町區内幸町一其發行所）
▲ポケット英語（一の二）說明及び解釋中に組込む其他の原語を用ひ自然に英語をマスターし得る樣に仕組たるは新機軸と云ふべし（十五錢東京市麹町區三の四其社）
▲中心勢力移動論（公民同盟叢書十五編）立憲的機に依る中等社會の健全なる發達の必要を論じたり大隈伯題（十錢東京市麹町區内幸町一の五公民同盟出版部）

◎腫物を切らずして治る藥が出來た

苦しみは今日迄惡性の腫物の多くは切解せねば治癒せぬものとのみ思つて居りしに茲に東京市麻布區新網町一丁目廿八番地小林正適堂製藥部より發賣したる『ニーリコ』と言ふ藥品は醫師小林立雄氏が多年腫物の苦心と幾多の病人とに實地に試驗せられ完全に出來上つた藥で實に腫物の中でも最も恐ろしき癰、疔、瘭疽、蜂窩織炎、濕疹等を内服だけで切解する事も要らず痛みも直くに止り腫物の膿も散く又切解よりも時日か餘程早くて奇麗に治癒る事實に不思議な程よく効果の有る藥で從つて婦人小兒老人などには切解することをいやがる人には又となき良藥である殊に婦人の顔面に出來た疔など切解する時は生れ付かぬ瘢痕者にならねばならぬが此藥を飲めば左樣な心配もなく苦痛なしに治癒る由尚其外に神經衰弱、脚氣等にも特効あり又極めて飲み易き藥なりと聞く

尚其藥に小林立雄氏は赤痢、コレラ、其他下痢を止める藥一切に効果ある『アンチレオ』を言ふ藥を發見せられ此死の重病人でも僅か二三日で下痢は全然止り漸時根本から治る神秘なる藥を數年前より發賣して居られる此藥は粉末と錠劑との二種類になつて居る尚詳しき事は郵便切手二錢封入申込めば無代で直ちに說明書を送付するとの事である右二藥共内地では非常に評判よく諸病院を初め專ら賞用せられて居る由當地にては京城本町一丁目山岸天佑堂藥房が其朝鮮一手特約大阪賣店なりと

●此頃の伯林食事

このお國自慢を拜聽して見ると伴の如し、此頃の伯林は[illegible]

でも同じこと本店へ往つても例時と[illegible]

ては以前よりも[illegible]

[illegible]ものです、それから汽車[illegible]

も給仕が叮嚀に『へ、い、い』特節柄[illegible]

[illegible]料理店』と書[illegible]

[illegible]方が三割方は安い、食事の直段は今日では伯林で平時よりも僅かに二割[illegible]とつさりあるのに驚いた――とは此話は、恐らく戦時でいつもよりは四[illegible]の價値があるだらうが併し[illegible]

●月やへ
止り又は不順にてお困りの方は神戸市布引町一丁目十一山口小町屋へ一切手封入手紙下さい其の通經妙藥あり人助けの爲御知らせ致ます

目ニ見ヘテ　ズンズントキク
シュマズ　イタマヌ
井上博士ノ　ロート目藥
二十錢　十錢

M印　名譽受賞　ゴマリ

皮膚科　外科　瀬戸醫院
旭町二丁目（舊三丁目）
醫學士　瀬戸潔
（電話二四九八番）
診察夜九時まで

陰萎病並に神經衰弱に大効あり
滋腎　田春丸
壹週間分七十五錢　全二週間分壹圓四十錢　全一ヶ月分二圓五十錢
東京銀座　岸田吟香
電話新橋二六二五番　振替口座四七七番

登録商標　瓢水味淋　堺鳳鳴釀
專賣店　京城本町二丁目　前田酒店

醇良清酒
仁川本町四丁目　吉金酒店　電話七六四番

粉末　錠劑　最新肺病治療劑
專賣特許　レスピラチン
本劑ハ佐多、坪井、緒方三醫學博士神中醫學士等ノ實驗證明
適應症　肺結核、慢性氣管支炎、加答兒性肺炎、慢性氣管支炎、流行性感冒、喘息、百日咳等ニ奏効顯著
特約店　大阪　武田長兵衛商店　中村合資會社　小野市兵衛商店　東京　乾保之助　三共株式會社
驅梅新藥　圓形新發賣
本劑ハ第三期梅毒ニ「サルバルサン」ヲ注射シテ尚ホ全治セザル患者ニ注射シテ著効アリ
本劑ハ梅毒性各種ノ皮膚病疾患ニ對スル特効藥ニシテ世ニアリフレタル梅毒藥ト選ヲ異ニスルモノナリ
合資會社　大阪化學研究所
大阪東區内平野町二丁目　電話東三六〇七　振替大阪六〇九八　東京一六八六五
說明書無料送呈●全國到る處の藥店にあり

消化と毒けし　仁丹
春の外出よ　仁丹
金言　美服も失儀を隱さず（ホーマー）

觀賞樹　山林樹　果樹　苗
本町二丁目に花卉、盆栽、種子の出張賣店あり
造庭請負、植木賣供給、其他園藝一般事業
吉野櫻、八重櫻、ニセアカシヤ、赤、黑松、桑、各種檜葉、玉伊吹、朝鮮樅、各種苹果、梨、葡萄
京城植物園　東大門内　電話一四五　同横　柏堤

日韓書房　新版報告
小波著　學校家庭　教訓お伽噺　定價壹圓五拾錢　送料十二錢
村上靜人評編　ハウプトマン傑作集　定價壹圓　送料八錢
内ヶ崎作三郎編　人生日訓　定價壹圓八拾錢　送料八錢
松田良藏著　小學理科書の活用　定價六拾錢　送料八錢
澁川玄耳著　故郷他郷　定價一圓廿錢　送料八錢
京城本町二丁目　日韓書房　電話一四〇　振替口座五二一二

大日本優等清酒　ハクツル
品質純良　衛生無害
登録商標　本家　白鶴
醸造元　攝津灘御影町　嘉納合名會社
發賣元　京城本町二丁目廿番地　前田酒店　電話一三七番　振替口座四二五番

銚子港　田中玄蕃釀造
ヒゲタ醬油
代理店　櫻正宗發賣元
京城明治町一丁目　山邑京城支店
電話八四九番　振替貯金京城七五番

尼崎汽船仁川出帆

○群山木浦釜山下關神戸大阪行

船名	出帆日	時刻
大正丸	四月十一日	後四時出帆
大有丸	四月十八日	後四時出帆
大代丸	月　日	後四時出帆
静岡丸	月　日	後四時出帆
君が代丸	月　日	後四時出帆

仁川港町　電話五十九番　高杉回漕部

汽船釜山出帆廣告

航路	船名	出帆日	時刻
○門司、神戸、大阪行	立神丸	四月　日	後五時出帆
○元山清津浦鹽行	立神丸	月　日	後十時出帆
○門司、神戸、大阪行	小倉丸	月　日	後五時出帆
○元山、城津、浦鹽行	小倉丸	四月廿六日	後十時出帆
○元山、西湖、新浦、城津、清津行	第三琴平丸	月　日	後六時出帆
○門司、宇品、神戸、大阪行	第三琴平丸	四月　日	後六時出帆
○佐須奈、嚴原、壹岐、博多行	天長丸	毎月二日九日廿一日廿六日	午後十時出帆

釜山本町五丁目　大池回漕部

朝鮮郵船出帆

本社　電話一九五二番三三番

船名	出帆日	發港	備考
全羅丸	四月十二日	釜山發	門司より各港經由雄基行
京畿丸	四月廿二日	釜山發	
西海丸	四月廿六日	釜山發	
咸鏡丸	四月十六日	釜山發	
穩城丸	四月十三日	元山發	元山より各港經由雄基行
昌平丸	四月十一日	元山發	
鏡城丸	四月十七日	元山發	
忠清丸	四月十二日	元山發	城津清津西湖行　但敦賀より門司又は長崎行
平壤丸	四月廿一日	元山發	
永興丸	毎月廿八回	元山發	北久慈五里浦行
益徳丸	四月十一日	釜山發	甘浦、九龍浦、浦項各港寄港行
江陵丸・襄陽丸	毎日	（釜山浦項）發	長生浦、方魚津寄港
三浦丸	四月十一日	釜山發	長承浦、麗水、巨文島、濟州島各港行
海州丸・統營丸・巨濟丸・慶寶丸	毎日	釜山發	各港經由麗水行（三日目一回木浦行）
順天丸	三日目一回	木浦發	各港經由麗水より釜山にて接續
慶興丸	四月九日	木浦發	各港經由濟州島行（西廻）
公州丸	四月十四日	木浦發	南多島海列島行（月三回）
公州丸	四月十二日	木浦發	各港經由濟州島行（東廻）
宗信丸	四月十二日	仁川發	海州仙各港經由鎭南浦又は白翎島行
江原丸	四月十七日	仁川發	青島、大連、芝罘行
麗水丸	四月十一日	仁川發	
晉州丸	四月十七日	仁川發	各港經由木浦行
錦江丸	毎日午前	仁川發	
南陽丸			江華島、開城、海州行
平安丸	四月廿四日・四月十八日	群山發・若松發	往航大黑山、木浦、門司、若松行　復航門司、木浦、群山行

京城南大門驛前　京城代理店及出張所　旅客取次店　松原運送店　（電話一二七〇）

寫眞

寫眞出張撮影
寫眞銅版、亞鉛凸版
最も熟練せる技術を以て最も廉價に迅速と叮嚀親切を旨とし御高需に可應候
京城日報社　寫眞製版部

金泉間自動車發着時間表

	一番	二番
上り　金泉發	前八・〇〇	
尙州着		
尙州發		
咸昌着		
咸昌發		
聞慶着		
下り　聞慶發		
咸昌着		
咸昌發		
尙州着		
尙州發		
金泉着		

▲金泉小荷物運搬仕り候
織居自動車支部　金泉電話四八番

日本郵船仁川出帆

○大連、大沽、牛莊行

船名	出帆日	時刻
三河丸	四月廿二日	正午出帆
相模丸	五月五日	正午出帆
高砂丸	四月十日	正午出帆

仁川海岸町一丁目　電話十一番　堀回漕部

大阪商船仁川出帆

○外航所屬航路（濟州航路を除く）閉鎖の時は五分引を以て乘船切符發賣仕候

航路	船名	出帆日	時刻
群山、木浦、釜山、關門、神戸、大阪行	油頭丸	四月十一日	午後五時出帆
	安東丸	四月十四日	
	須摩丸	四月十七日	
木浦、釜山、長崎行▲印は鎭南浦へ寄港	信濃川丸	四月廿三日	後二時出
	信濃川丸	五月六日	後二時出
鎭南浦大連行	信濃川丸	四月十八日	後二時出
	信濃川丸	五月一日	後二時出
木浦大阪直航	宮島丸	四月十七日	後五時出
大連直行	潮州丸	四月十七日	正午出帆
	福州丸	四月廿七日	
群山、釜山、横濱行	福州丸	五月二日	午後二時出帆
	潮州丸	四月廿二日	
清津、浦潮行（元山出帆）	宮島丸	四月廿九日	午後二時出帆
	平安丸	四月十五日	
上海、基隆、打狗行（大連出帆）	基隆丸	四月十二日	後十時出帆
	城津丸	四月廿三日	後四時出帆

御注意
○朝鮮鐵道及南滿洲鐵道會社との聯絡切符發賣仕候
○御乘船客は本船出帆約一時間前に御乘込被下度候
○×印は一等客御斷り△印は船客御斷り
切符發賣所　大阪商船會社仁川支店　電話二〇番・二〇五
京城切符發賣所　内國通運會社支店　電話七〇八番
▲中國四國沿岸各港行船客に對し門司より五割引を以て連絡乘船切符發賣仕候

阿波共同汽船仁川出帆

阿波國共同汽船會社芝罘、大連行

船名	入港	出帆
共同丸	四月　日後二時入	四月　日前九時出

朝鮮鐵道經由にて旅客運送御取扱仕候　大連にて南滿行定期船に接續し乘換船御取扱可仕候

航路	船名	出帆日	時刻
城津、清津、浦鹽行（元山出帆）	第一阪鶴丸	月　日	後九時出帆
西湖津沿岸各港を經て雄基行	第三阪鶴丸	月　日	前八時出帆

（元山出帆）
阿波國共同汽船株式會社
本町一丁目　電話一〇八番
仁川代理店　山下回漕部
元山代理店　田口回漕部
京城取次店　河村運送店